



NEC



はじめにお読みください

最初に電源を入れるときの、必読書!

接続に迷ったときは、この一冊!

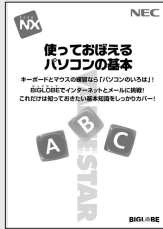
電子マニュアル「ぱそガイド」の使い方も説明!

VALUESTAR

マニュアルガイド

このパソコンには、『はじめにお読みください』の他にも、パソコンを使うときに役に立ついろいろなマニュアルがあります。添付の『安全にお使いいただくために』とあわせてお読みください。

パソコンの基本操作を学びたいときは、コレ



パソコンを思う存分活用したいときは、コレ



周辺機器を使いたいときは、コレ




パソコンでトラブルが起きたら、コレ



パソコンでテレビを見るなら、コレ (TV モデルのみ)



電子マニュアル「ばそガイド」を見る

このパソコンには、画面で見ることができるマニュアル「ばそガイド」があります。「ばそガイド」は、デスクトップの  をダブルクリックして起動します。

パソコン用語を調べることができます

パソコンの基本操作を学べます

このパソコンのアプリケーションの活用のしかたや、追加と削除のしかたを調べることができます



「ばそガイド」の使い方を調べることができます

パソコンやインターネットのトラブルの解決方法を調べることができます

パソコンに関するサービスや添付のアプリケーションのサポート窓口を調べることができます

『はじめにお読みください』の読み方

『はじめにお読みください』では、パソコンが使えるようになるまでの手順を説明しています。このページを参考にして、正しい順番で操作を行ってください。

PART1 パソコンを接続する前に

まず、添付品を確認します。次に、パソコンの置き場所を決めます。

PART2 パソコンの接続をはじめる

PART3 パソコンの接続を完了させる

(ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの場合)

PART4 パソコンの接続を完了させる

(USB キーボード、USB マウスの場合)

パソコンを使うときに必要なものを接続します。モデルによって、パソコンに接続する手順が異なるのでご注意ください。

PART5 電源を入れてパソコンが使えるようにする

Windows(ウィンドウズ)のセットアップを行います。セットアップが終わると、いよいよパソコンが使えるようになります。

セットアップが終わったら...

PART6 パソコンを使い始めよう

セットアップが終わってからの進み方について説明しています。また、Windows(ウィンドウズ)操作の基本となる「デスクトップ」や「スタートメニュー」、電子マニュアル「ばそガイド」の使い方も掲載しています。

付録

これだけは知っておきたい、パソコン本体やキーボードの各部の名称と役割、CD-ROM(シーディーロム)などの扱い方について説明しています。また、音量の調節のしかたについてもここで説明しています。

このマニュアルの表記について

手順は左、補足説明は右に

このマニュアルでは、操作手順は順番に画面を示しながら説明しています。実際のパソコンの画面を確かめながら操作を進めてください。パソコンの画面でむやみにマウスを操作すると、思わぬ画面が表示されることがあります。このマニュアルで、どこを操作すればよいのか必ず確認してください。また、ページの右側の注意には、操作に関連する補足説明や用語解説などが記載されています。はじめてパソコンを扱う方は、右側の説明もよく読んでください。

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています



警告

注意事項を守っていただけない場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。



感電注意

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、毒物注意、破裂注意についても、それぞれ記載しています。



禁止事項を示します。



電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。



アース線を必ず接続するように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



チェック!!

してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。



ポイント

そこまでに説明した手順の中でとくに大切なポイントがまとめられています。後から応用するときのヒントとして利用してください。






参照

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています

<p>【 】</p> <p>CD/DVDドライブ</p> <p> 「ばそガイド」</p> <p> 「ばそガイド」 「パソコンで できること」</p>	<p>【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。</p> <p>CD-R/RWモデルでは、CD-R/RWドライブのことを指します。 CD-R/RW with DVD-ROMモデルでは、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのことを指します。</p> <p>電子マニュアル「ばそガイド」を起動して、各項目を参照することを示します。 「ばそガイド」は、デスクトップの  をダブルクリックして起動します。</p> <p>「ばそガイド」を起動して、アプリケーションの操作方法などを参照することを示します。アプリケーションの名称がわかっている場合は、続けて「50音別目次」をクリックして該当する項目をご覧ください。</p>
--	--

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

下記の表をご覧ください。購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

<p>このパソコン</p> <p>液晶ディスプレイ セットモデル</p> <p>CRTディスプレイ セットモデル</p> <p>CD-R/RW with DVD-ROMモデル</p> <p>TVモデル</p> <p>Office XPモデル</p>	<p>表の各モデル(機種)を指します。</p> <p>液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。</p> <p>CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。</p> <p>CD-R/RW with DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。</p> <p>テレビ/地上波データ放送を見るための機能を搭載しているモデルのことです。</p> <p>Microsoft® Office XP Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。</p>
--	---

型名	型番	表記の区分				添付 アプリケーション
		CD/DVDドライブ	ディスプレイ	キーボード・マウス	TV機能	
VC300/1D	PC-VC3001D	CD-R/RW with DVD-ROMドライブ	液晶ディスプレイセット モデル (15型液晶)	ワイヤレスキーボード・ ワイヤレスマウス		Office XP モデル
VT500/1D	PC-VT5001D		液晶ディスプレイセット モデル (15.3型ワイド液晶)	USBキーボード・ USBマウス		
VT300/1D	PC-VT3001D		CRTディスプレイセット モデル (17型CRT)			

本文中の画面やイラスト、ホームページについて

本文中の画面やイラスト、ホームページは、モデルによって異なることがあります。また、実際の画面と異なることがあります。

記載しているホームページの内容やアドレスは、本冊子制作時点のものです。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
Office XP Personal	Microsoft® Office XP Personal(Microsoft Word、Microsoft Excel、 Microsoft Outlook®、Microsoft Bookshelf® Basic 3.0)
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 6.0

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
- (4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6) 海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® XP Home Editionおよび本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
- (8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、Windows、Office ロゴ、Outlook、Bookshelf は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

McAfee VirusScan は、米国法人 Network Associates, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。

i-morning、アイモーニングは株式会社デジタルアドベンチャーの商標です。

BIGLOBE は、日本電気株式会社の登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd. 2001

日本電気株式会社、NEC カスタムテクニカ株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。

本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等はありません。

本製品の輸出（個人による携行を含む）については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards. NEC*¹ will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan. NEC*¹ does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan.

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

*1: NEC Corporation, NEC CustomTechnica, Ltd.

目次

CONTENTS

『はじめにお読みください』の読み方	i
このマニュアルの表記について	ii

PART

1



パソコンを接続する前に 1

箱を開けた後で	2
添付品を確認する	2
型名(型番)と製造番号を確認する	2
置き場所を決める	3
パソコンを置くのに適した場所	3
パソコンを置くのに必要な広さ	4
インターネットするなら、電話回線の近くに	5
パソコンはアンテナ線が届く場所に(TV モデルのみ).....	6
パソコンを置くのに適さない場所	6
パソコンの近くに置いてはいけないもの	7
電源の取り方	8
パソコンに必要な電源	8

PART

2



パソコンの接続をはじめる 9

接続するときの注意	10
パソコンを接続する手順	11
パソコン本体にスタビライザを取り付ける	12
両側にスタビライザを取り付ける	13
片側だけスタビライザを取り付ける	14
アースを接続する	15
電話回線に接続する	17
電話機をパソコンにつなぐ	18
パソコンを電話回線につなぐ	19

PART

3



**パソコンの接続を完了させる
(ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの場合)..... 2 1**

ディスプレイを接続する	2 2
キーボードとマウスの準備をする	2 4
キーボードとマウスに乾電池を入れる	2 5
キーボードの足を立てる	2 6
電源ケーブルを接続する	2 7
ディスプレイの電源ケーブルを接続する (17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイのみ).....	2 8
パソコン本体に電源ケーブルを接続する	2 9

PART

4



**パソコンの接続を完了させる
(USB キーボード、USB マウスの場合)..... 3 1**

ディスプレイを接続する	3 2
キーボードとマウスの接続をする	3 4
本体にキーボードを接続する	3 4
キーボードの足を立てる	3 4
マウスを接続する	3 5
外付けスピーカを接続する	3 6
電源ケーブルを接続する	3 7
ディスプレイに電源ケーブルを接続する	3 8
スピーカに AC アダプタを接続する	3 8
パソコン本体に電源ケーブルを接続する	3 9

PART

5

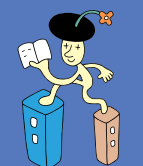


電源を入れてパソコンを使えるようにする 4 1

セットアップをはじめる	4 2
CRT ディスプレイの電源を入れる (CRT ディスプレイの場合).....	4 2
液晶ディスプレイの電源を入れる (17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合).....	4 2
スピーカの電源を入れる (スピーカ添付モデルのみ).....	4 3
パソコン本体の電源を入れる	4 3
キーボードとマウスを使えるようにする (ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスのみ).....	4 5

PART

6



セットアップをはじめる前に	51
マウスを動かしてみる	52
「次へ」をクリックする	53
使用許諾契約に同意する	54
セットアップをつづける	55
このパソコンの機能を使えるようにする	59
お客様登録を行う	62
電源の入れ方と切り方	63
電源を入れる	63
電源を切る	65
省電力機能について	67

パソコンを使いはじめよう 69

デスクトップってなに?	70
スタートメニューを見る	72
これからの進め方	74
電子マニュアルを見る	78
「ばそガイド」を見る	78
Windows の「ヘルプとサポート」を見る	81

付 録 83

各部の名称と役割を覚えよう	84
CD-ROM などの扱い方	86
このパソコンの CD/DVD ドライブで使えるディスク	86
CD-ROM の取り扱い上の注意	86
CD-ROM の入れ方と出し方	87
音量を調節する	91

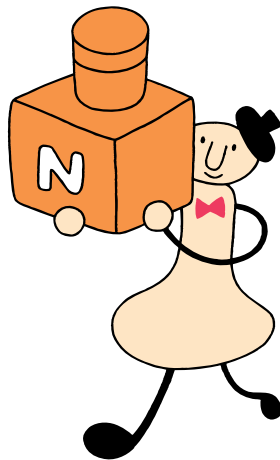
索 引 93

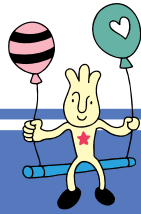
PART

1

パソコンを接続する前に

梱包箱を開けたら、まず添付品などを確認しましょう。確認できたら、パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンは精密機械ですから、置き場所についてはいくつか気をつけなければいけないことがあります。



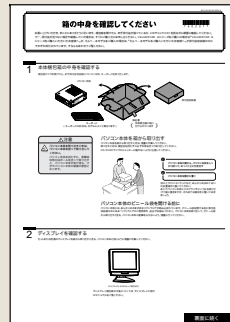


箱を開けた後で

梱装箱を開けたら、まず添付品、型名(型番)、製造番号を確認します。

添付品を確認する

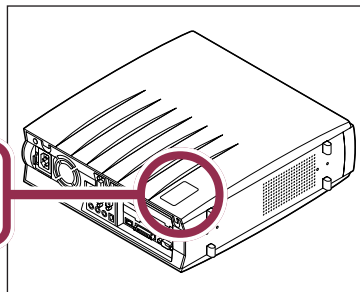
梱装箱を開けたら、まず最初に『箱の中身を確認してください』をご覧ください。添付品が揃っているかどうか確認してください。万一、添付品が足りなかったり、破損していた場合は、すぐにご購入元にお申し出ください。



型名(型番)と製造番号を確認する

1

本体左側面の型名(型番)と製造番号を確認する



2

保証書の記載と で確認した番号が同じかどうか確認する



3

ディスプレイ本体とディスプレイの保証書を同様に確認する
ディスプレイの製造番号は背面に記載されています。

✓ チェック!!

本体左側面と保証書の記載が異なっていた場合は、ご購入元に連絡してください。

保証書は、ご購入で所定事項をご記入のうえ、お受け取りになり、保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元または、NECにお問い合わせください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。

📖 参照

NECのお問い合わせ先 『121wareガイドブック』



置き場所を決める

パソコンを置く場所を決めましょう。パソコンには、置くのに適した場所、適さない場所があります。また、パソコンの近くに置いてはいけないものもあります。

⚠️ 注意



感電注意

液体がかかる場所や湿気が多い場所に置かないでください。



発火注意

パソコンを、水や油などの液体がかかる場所、湯気があたる場所、湿気が多い場所に置くと、感電の原因になります。



発火注意

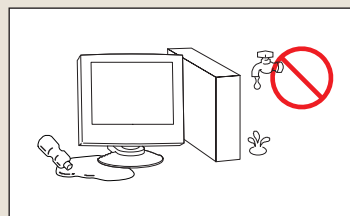
パソコンを屋外に置かないでください。また、船舶、車輦などの内部では使用しないでください。



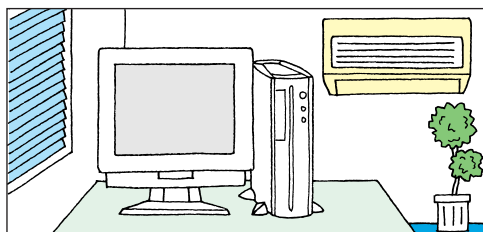
けが注意

ケーブル類を整理してください

ケーブル類を整理していないと、つまづいたり引っかけたりしてけがの原因になります。またパソコンが倒れ故障の原因になります。



パソコンを置くのに適した場所



屋内

パソコンは必ず屋内に置いてください。

平らで十分な強度がある台の上

(パソコンが落ちるおそれがないこと)

パソコンを置くのに適切な台がない場合は、市販のパソコンラックなどを使うこともできます。使いやすさをよく考えて選びましょう。

また、本体の転倒防止のために、添付のスタビライザを取り付けてください。

ホコリが少ない

パソコンにホコリは大敵です。ホコリの少ない場所を選んでください。

用語

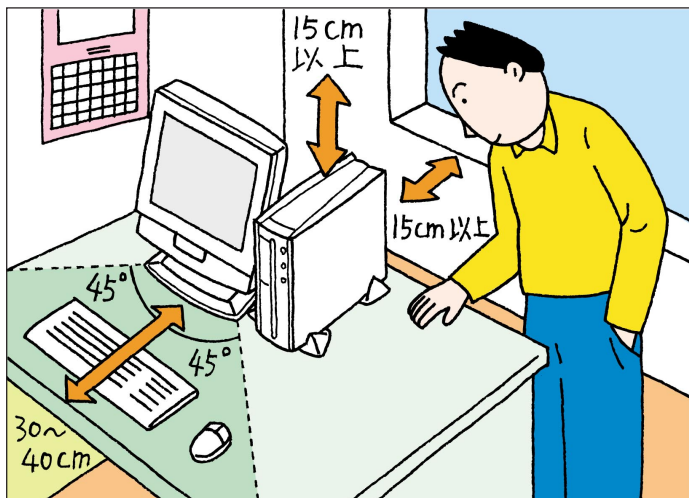
結露

空気中の水分が金属板などの表面に触れて水滴となる現象です。寒い屋外から暖かい室内に入るとメガネが曇ったりするのも、結露の一例です。パソコンを温度の低い場所から暖かい部屋に持ち込んだりすると、機械の外側や内部に結露することがあります。このようなときは、電源を入れずに1時間以上置いておき、結露が収まるのを待ってから使ってください。

温度 10℃～35℃(結露しないこと)、湿度 20%～80%

パソコンを置くのに必要な広さ

パソコンを設置するときには、キーボードやマウスを置く場所や、配線のためのスペースが必要です。



パソコン本体の前側

→約 30 cm ~ 40 cm

キーボードを置くためには、約 20cm 必要です。マウスを動かしたり、ゆったりとキーを打つためには、さらに約 10cm ~ 20cm の余裕があったほうがよいでしょう。

また、ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いの場合は、ディスプレイから 45 度の範囲でを使用することをおすすめします。

パソコン本体の後ろ側

→約 50 cm (最低 15 cm 以上)

本体の後ろ側には通風孔があるので、壁などから最低でも 15cm 離す必要があります。しかし、それだけではあとで配線をするときに大変です。50cm 程度の余裕があれば、パソコンの後ろ側がよく見えるので、接続の作業が楽になります。

パソコン本体の上側、ディスプレイの上側または背面
→最低 15 cm 以上

意外に忘れがちなのが、パソコンの上の空間です。パソコン本体の天面(上側)や、ディスプレイの上側または背面にも通風孔があるので、通風孔と棚の天板などとの間を最低でも 15cm あけてください。また、布などをかけて通風孔をふさがないようにしてください。

✓チェック!!

パソコン本体、ディスプレイの通風孔をふさいでしまうと、内部の温度が上昇し、動作不良や故障の原因になります。



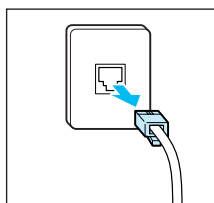
インターネットするなら、電話回線の近くに

インターネットなど、パソコンの通信機能を利用するには、パソコンを電話回線に接続する必要があります。あらかじめ、ケーブルが電話回線の接続口(モジュラーコンセントと呼びます)に届く場所に、パソコンを設置しておくことをおすすめします。モジュラーコンセントは、電話機の本体から電話線をたどっていくと見つけることができます。

モジュラーコンセントが電話線のプラグを簡単に取り外せるような形状になっていない場合は、電話工事が必要になることがあります。詳しくは、お近くの電話工事店またはNTTにお問い合わせください。

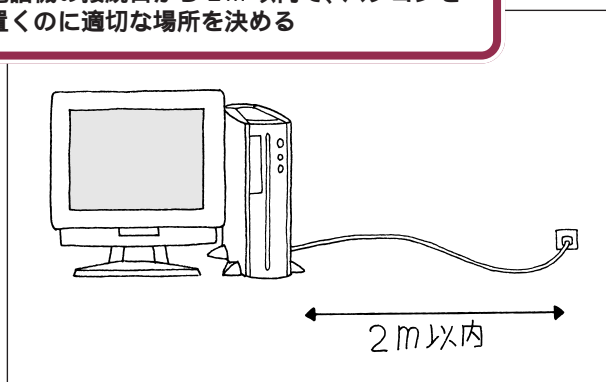
1

電話線のプラグが簡単に抜けることを確かめる



2

電話機の接続口から 2m 以内で、パソコンを置くのに適切な場所を決める



市販のワイヤレスLAN(ラン)に対応したターミナルアダプタやブロードバンドルータなどを使うと、モジュラーコンセントから離れた場所でインターネットに接続することもできます。これには、パソコン側にワイヤレスLANアダプターを取り付ける必要があります。

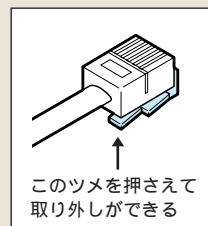
このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2mの長さのものが添付されています。添付のモジュラーケーブルでは長さが足りないときは、お近くの電器店またはパソコン販売店などで、必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

用語

モジュラーケーブル

通常は、電話回線の接続口(モジュラーコンセント)と電話機を接続するのに使われるケーブルです。パソコンを電話回線の接続口につなぐときも、同じケーブルを使います。電器店などで購入できます。

電話線のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



このツメを押さえて取り外しができる

参照

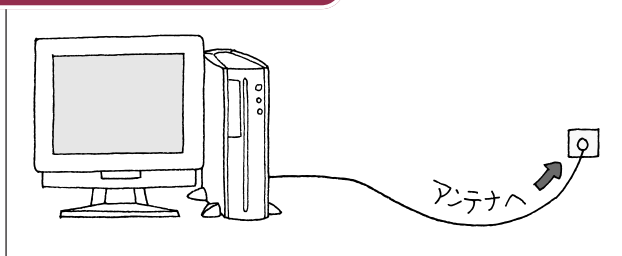
ワイヤレスLANについて
『VALUESTAR 活用レシピ』

パソコンはアンテナ線が届く場所に(TVモデルのみ)

本体にアンテナ線をつなぐと、パソコンでテレビを見ることができます。あらかじめアンテナ線の長さや配置を考慮してパソコンを設置することをおすすめします。

1

アンテナ線の先がとどく範囲で、パソコンを置くのに適切な場所を決める



アンテナ線の接続は、『TVモデルガイド』の「PART1 接続しよう」で説明しています。



参照
アンテナ線の接続 『TVモデルガイド』の「PART1 接続しよう」

TVモデルには、ビデオデッキなども接続できます。これらの機器を接続する場合には、ケーブルの長さを考慮して置き場所を決めましょう。

パソコンを置くのに適さない場所

ケーブルが足などに引かかる

ドアがあたる

人がぶつかりやすい

直射日光があたる

水などの液体がかかる

ほこりの多いところ



パソコンを接続したときに、ケーブル類が人の通る床をはっていると、足に引っかけるなどしてけがやパソコンの故障の原因となり危険です。また、小さなお子さんがある場合は、キーボードやマウスなどをお子さんが引っ張って落としてしまうこともあるので、十分に注意してください。

パソコンの近くに置いてはいけないもの

・扇風機や大型のスピーカ、温風式こたつなど

(磁気を発生するもの、磁気を帯びているもの)

パソコンは磁気の影響を受けやすいので、強い磁気が近くにあるとディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

パソコン用スピーカなど、磁気をもらさない(防磁設計)スピーカは近くに置いて構いません。

温風式こたつも磁気を発生するので、パソコンを温風式こたつの上に置かないでください。

・ストーブなどの暖房器具

暖房器具の近くにパソコンを置くと、熱でパソコンが変形したり、異常な動作をすることがあります。

・薬品

薬品によっては、付着するとパソコンが溶けたり、変形したりすることがあります。

・他のディスプレイ

他のディスプレイの表示が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。

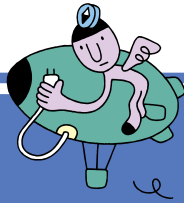
・テレビ、ラジオ

テレビやラジオにノイズが入ることがあります。

・コードレス電話、携帯電話

コードレス電話や携帯電話などで通話中のときにノイズが入ることがあります。また、パソコンも電波の影響を受けてスピーカにノイズが入ることがあります。

電源の取り方



パソコンの電源の取り方はとても大切です。コンセントの位置や数をよく確認しておきましょう。

⚠️ 注意



感電注意



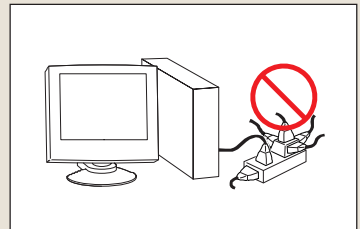
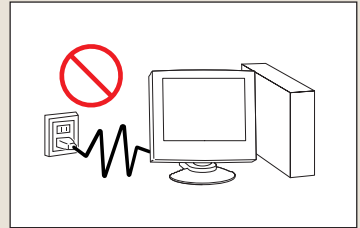
発火注意

電源ケーブルが折れ曲がった状態で使用しないようにしてください。

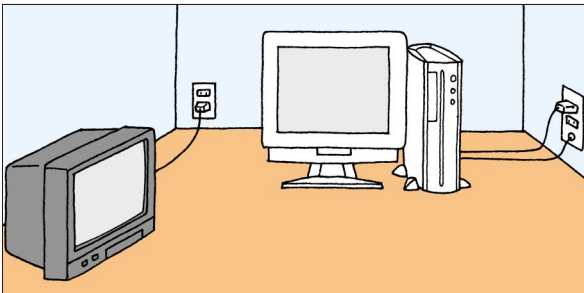
電源ケーブルが折れ曲がると、ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。

AC100V(50/60Hz)の電源が使える場所に置いてください。

- ・ AC100V(50/60Hz)以外の電圧で使用すると、感電、発煙、火災の原因になります。
- ・ タコ足配線にならないように、コンセントから直接電源が取れる場所に置いてください。電源ケーブルをタコ足配線にすると、コンセントが過熱して火災の原因になります。



パソコンに必要な電源



アース端子

本体のアース線を接続します。コンセントにアース端子がない場合は、他の方法でアースを取っても構いません。その場合、必ずお近くの電器店など、電気工事士の資格を持った人にアース端子付きコンセントの取り付けを相談してください。

コンセント

- ・ テレビ、ラジオなどとは別のコンセントを使う

テレビ、ラジオなどと同じコンセントを使うと、テレビ、ラジオなどに雑音が入ることがあります。

- ・ 電源はコンセントから直接取る

コンセントが不足、パソコン用のテーブルタップなどを使う場合は、テーブルタップの合計電力を必ず守ってください。

- ・ 必要なコンセントの個数を確認する

モデルによって必要なコンセントの個数は異なります。コンセントが必要なものは次の通りです。

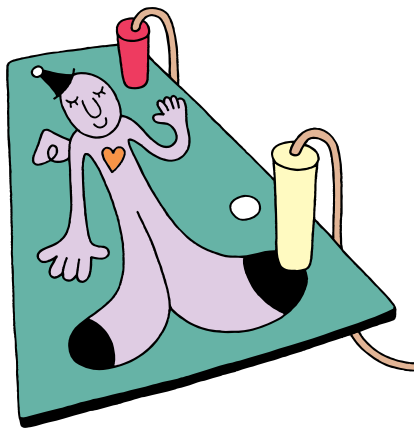
- パソコン本体
- ディスプレイ(15型液晶ディスプレイを除く)
- 外付けスピーカ(スピーカ添付モデルのみ)

PART

2

パソコンの接続をはじめる

パソコンは精密機器ですから、倒れたりしないように設置することが大切です。また、電源ケーブルのつなぎ方を間違えると、パソコンは動いてくれません。このあとの説明や安全上の注意事項を必ず読んで、慎重に作業を進めましょう。





接続するときの注意

パソコンを安全にお使いいただくために、必ず次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告



雷が鳴り出したら、電源ケーブル、ディスプレイのケーブル、ACアダプタ、モジュラーケーブル(電話線)、USBケーブル(USBキーボード、USBマウスのケーブル)の接続作業を中止してください。

落雷による感電のおそれがあります。

⚠ 注意



必ず本体にアース線を接続してください。アース線を接続しないと、感電の原因になります。



アース線を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。感電の原因になります。



周辺機器を接続するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。感電の原因になります。



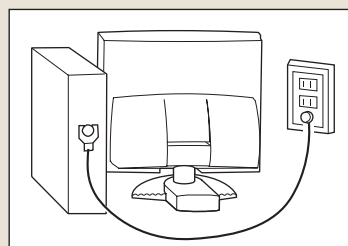
電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張って抜くと、断線して火災の原因になります。



ケーブル類は、つまずいたりひっかけたりしないように整理してください。



本体を横置きにするときは、必ず添付のゴム足を取り付けてから横置きにしてください。落下するおそれがありますので、本体の上には、ものを置かないでください。



プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このマニュアルの「PART5 電源を入れてパソコンを使うようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。接続と設定を行ってください。



パソコンを接続する手順

これから始めるパソコンの接続は、次の手順で行います。接続をはじめる前に、よく確認しておいてください。

パソコン本体にスタビライザを取り付ける

取り付けにはプラスドライバー(ねじ回し)が必要です。

アースを接続する

接続にはプラスドライバー(ねじ回し)が必要です。

インターネットを
利用したい方は

電話回線に接続する

ワイヤレスキーボード、
ワイヤレスマウス
の場合(PART3)

USB キーボード、
USB マウス
の場合(PART4)

ディスプレイを 接続する

ディスプレイを 接続する


キーボードとマウスに
乾電池を入れる

キーボード、マウスを
接続する

パソコン本体とディスプレ
イ(15 型液晶ディスプレ
イを除く)の電源ケーブル
を接続する

スピーカを接続する

スピーカのACアダプタ、パ
ソコン本体とディスプレ
イの電源ケーブルを接続する

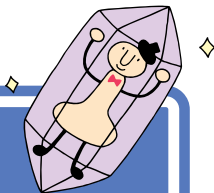
次ページから記載されている手順にしたがって、接続を行ってください。疲れたら途中で休憩しても構いません。接続するときは、パソコン本体のコネクタにあるマーク( やLCD など)の色と、ケーブルのプラグの色を合わせて接続してください。接続がすべて終わったら、p.30またはp.40の接続完成図で、正しく接続されているか確認してみましょう。

✓ チェック!!

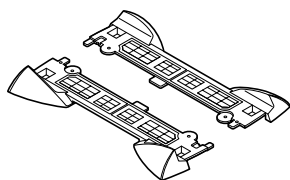
接続の途中で電源スイッチを押さないように注意してください。

パソコン本体に スタビライザを取り付ける

本体を安定させるためにスタビライザ(縦置き用の台)を取り付けましょう。



用意するもの



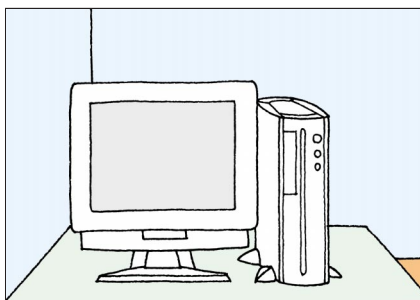
スタビライザ(2個)



スタビライザ
取付け用ネジ(2個)

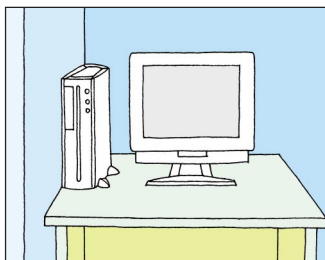
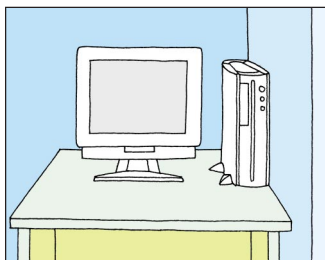
スタビライザの取り付け方には、2通りの方法があります。

両側に取り付ける(次ページ)



片側だけ取り付け(p.14)

下のイラストのように、スタビライザを片方だけ取り付けすることで、壁などの安定した場所に接して置くこともできます。

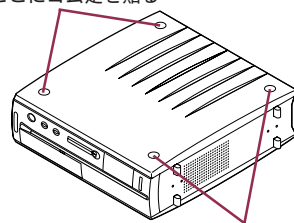


パソコン本体を横置きにする場合

パソコン本体を横置きにする場合は、ゴム足をつける必要があります。添付のゴム足を用意してください。このときスタビライザは取り付けする必要はありません。

ゴム足は両面テープで貼ります。シートをはがしてから貼ってください。

ここにゴム足を貼る



ここにゴム足を貼る



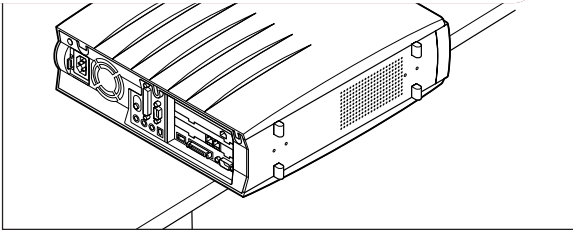
チェック!!

- ・ 取り付けの際に、本体とゴム足がはがれないように、ゴム足が接着する面をよくふいてください。
- ・ 横置きにする場合は、落下のおそれがありますので、パソコン本体の上には、ものを置かないでください。

両側にスタビライザを取り付ける

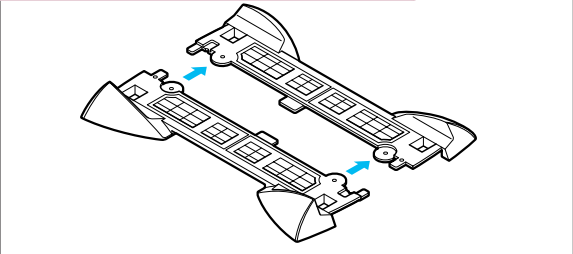
1

パソコン本体を、スタビライザの高さの分くらい底面がはみ出るように、机の端などに置く



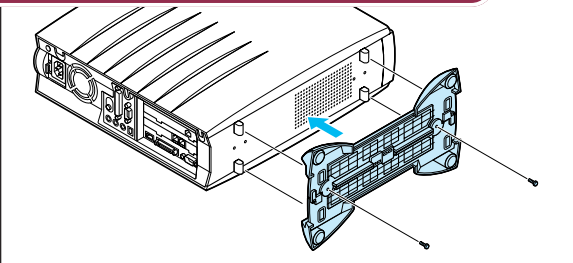
2

2つのスタビライザを組み合わせる



3

パソコン本体底面の突起に組み合わせたスタビライザをはめ、「1」と書かれたネジ穴に添付のネジを取り付ける



4

パソコン本体を持ち、静かに縦に置く



✓チェック!!

本体を横に倒すときは、本体を安定させるためや、机やテーブルなどを傷つけないために、下に厚手の紙や布などを敷いておくことをおすすめします。

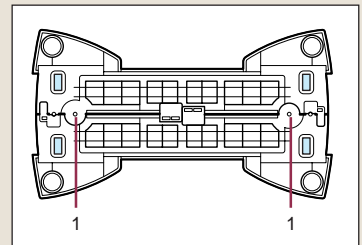
✓チェック!!

スタビライザを組み合わせても固定されません。落とさないように必ず両方を持つようにしてください。

本体にスタビライザをはめたら、落ちないように片手で押さえてください。

図の青い部分に本体底面の突起がはまります。

図の「1」の部分にネジを取り付けます。

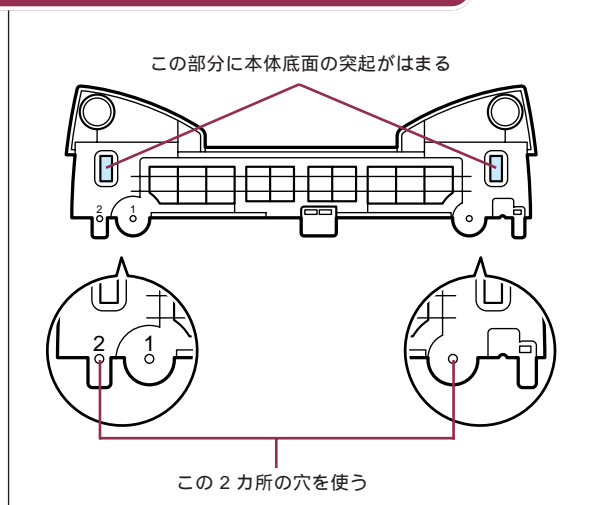


片側だけスタビライザを取り付ける

1

パソコン本体底面の突起がはまる位置と、ネジ穴の場所を確認する

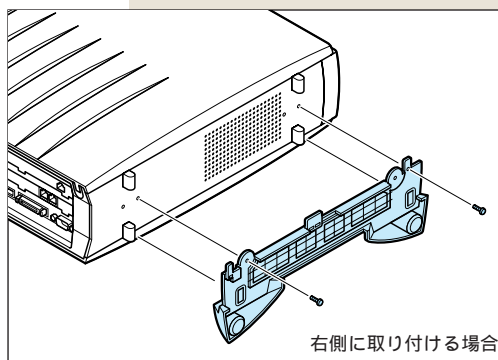
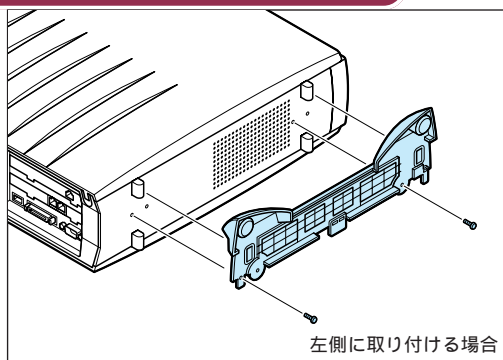
青い部分に本体底面の突起がはまります。ネジ穴は、図の2カ所の穴を使います。

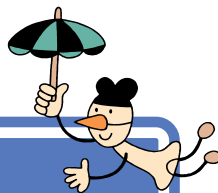


どちらのスタビライザを使用してもかまいません。

2

パソコン本体底面の突起にスタビライザを片方だけはめて、2本のネジで取り付ける





アースを接続する

パソコン本体の背面にあるアース端子のネジをゆるめて、アース線の端子を取り付けます。それからコンセントのアース端子に接続します。

⚠ 注意



発火注意

アース線は、絶対にガス管につながらないでください。
火災の原因になります。



感電注意

アース線の接続や取り外しを行うときは、必ず本体および周辺機器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。

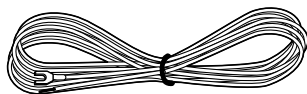


用語

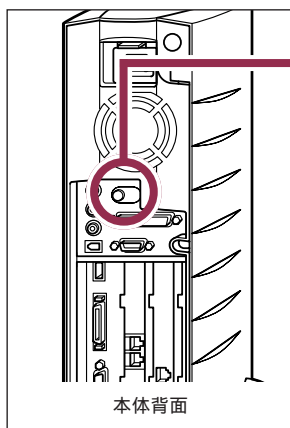
アース線

感電を防止するための電線です。パソコンのアース端子と、コンセントのアース端子をつなぐことで、万一漏電した場合の感電を防止する役目を果たします。安全のために必ず接続してください。

用意するもの



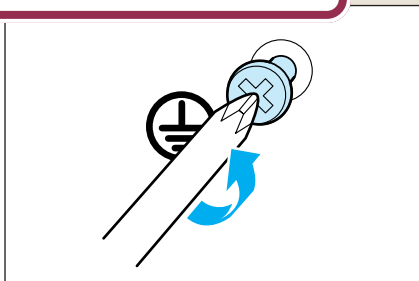
アース線（緑色の電線です。）



本体背面

1

本体背面の⊕の付いたネジをゆるめる

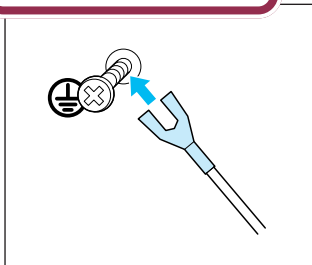


ドライバーはネジに合ったものをお使いください。合わないドライバーを使って無理にネジを回すと、ネジが壊れることがあります。

お使いの機種によっては、ネジの形状が異なる場合があります。

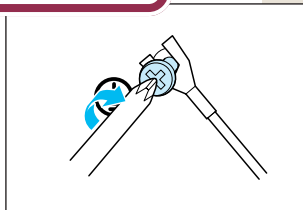
2

アース線の端子を
すき間に差し込む



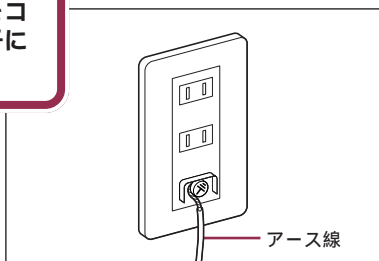
3

ネジをしめる



4

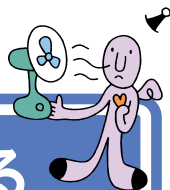
アース線のもう一方をコ
ンセントのアース端子に
接続する



✓チェック!!

- ・ アース線は水道管につながないでください。アースできない場合があります。
- ・ アース線は、電話専用のアース端子に接続しないでください。電話に雑音が入る場合があります。
- ・ アース端子付きのコンセントが利用できない場合には、お近くの電器店など電気工事士の資格を持つ人にアース端子付きコンセントの取り付けをご相談ください。

電話回線に接続する



インターネットを利用したり、このパソコンで「NECオンラインお客様登録」を行うときには、電話回線に接続する必要があります。この操作を行っても、電話機はいままで通り使えます。

⚠️ 注意



感電注意

モジュラーケーブル(電話線)の取り外しや接続を行うときは、プラグの端子部分に触れないでください。感電の原因になります。



発火注意

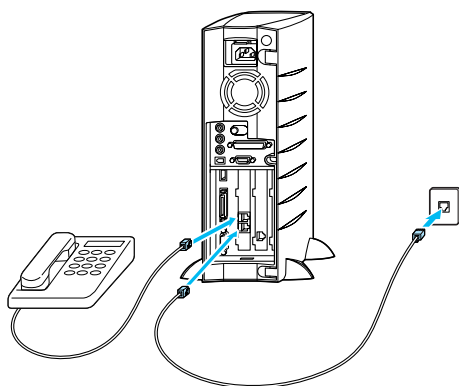
内蔵のFAXモデムは、一般の電話回線にのみ対応しています。一般の電話回線以外に接続しないでください。故障、発熱の原因になります。

用意するもの



モジュラーケーブル

電話回線への接続のしかた



電話機のケーブルをモジュラーコンセントから外して本体に接続します。次に、添付のモジュラーケーブルを使って、本体とモジュラーコンセントを接続します。詳しくは、次ページの手順をご覧ください。

はじめて電源を入れたときにインターネットプロバイダBIGLOBE(ビッグロブ)へ入会できますが、このときにも電話回線への接続は必要です。

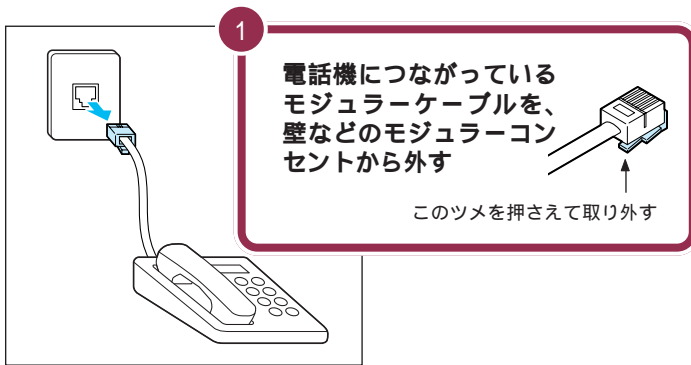
✓ チェック!!

- ・パソコンを電話回線に接続するには、電話回線の接続口がモジュラーコンセントになっている必要があります。
- ・このパソコンを電話回線に接続するためのケーブルは、2mの長さのものが添付されています。添付のモジュラーケーブルでは長さが足りない場合は、電器店などで必要な長さのモジュラーケーブルをお買い求めください。

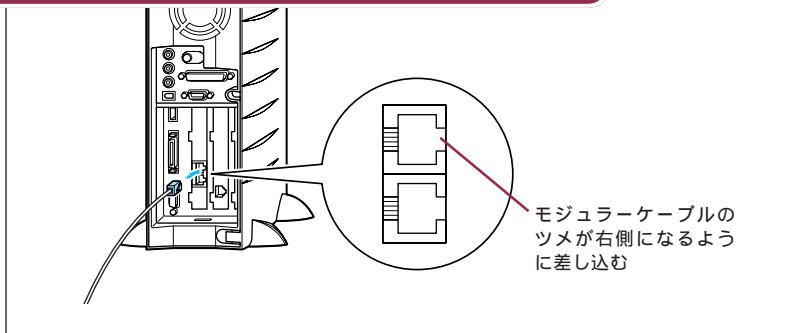
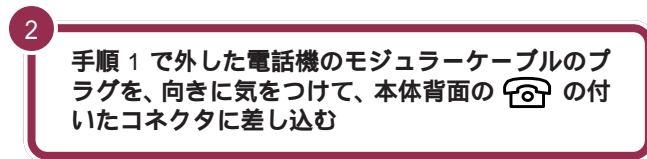
📖 参照

モジュラーコンセント、モジュラーケーブル PART1の「インターネットするなら、電話回線の近くに」(p.5)

電話機をパソコンにつなぐ



モジュラーケーブル(電話線)のプラグには、上下のどちらかにツメが付いています。このツメを指でつまんで押さえるようにすると、簡単に抜くことができます。



本体背面には☎マークの付いたコネクタがあります。このコネクタは、家庭内で複数のパソコンを接続したり、ADSL(エーディーエスエル)やCATV(ケーブルテレビ)などインターネットへの高速な接続を実現できるサービスを利用したりするときに使うものです。間違ってモジュラーケーブルを接続しないように注意してください。

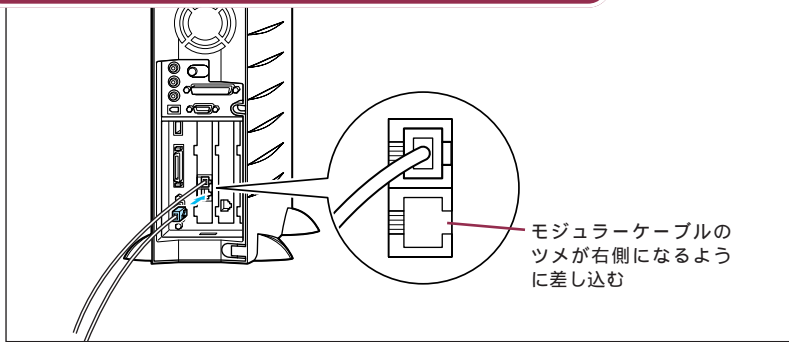
参照

☎マークの付いたコネクタについて『もっと知りたいパソコン』PART2の「LANコネクタ」

パソコンを電話回線につなぐ

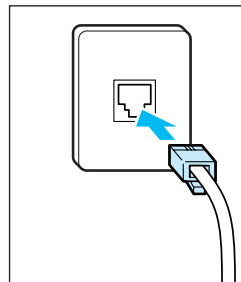
1

添付のモジュラーケーブルのプラグを、向きに気をつけて、本体背面の□の付いたコネクタに差し込む

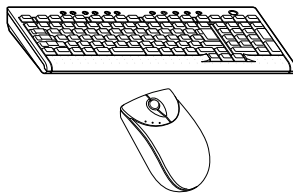


2

もう一方のプラグを壁などのモジュラーコンセントに差し込む



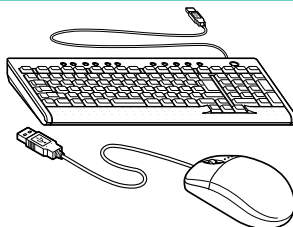
ここからの手順は、お使いのモデルによって異なります。
お使いのモデルのキーボードとマウスのタイプを確認して、あてはまるPARTへ進んでください。



ワイヤレスキーボード、
ワイヤレスマウスの場合

PART3 へ(p.21)

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスがセットになっているモデルの場合の接続手順です。



USB キーボード、
USB マウスの場合

PART4 へ(p.31)

USBキーボード、USBマウスがセットになっているモデルの場合の接続手順です。

パソコンを電話回線に接続しても、電話機はこれまで通り使うことができます。パソコンの電源が入っていてもいなくても関係ありません。

✓チェック!!

パソコンと電話回線をつなぐモジュラーケーブルや、電話機とパソコンをつなぐモジュラーケーブルは、人の通る場所を避けて配線してください。うまく配線できないときは、お近くの電話工事店やパソコンのご購入元などにご相談ください。

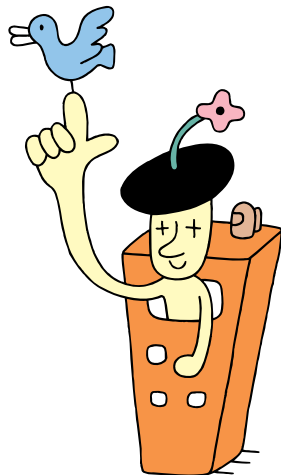
キーボードの形状はモデルにより異なります。

パソコンの接続を完了させる (ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの場合)

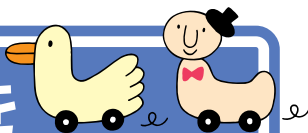
USB キーボード、USB マウスがセットのモデルをご購入された方は、「PART4 パソコンの接続を完了させる(USB キーボード、USB マウスの場合)」(p.31)をご覧ください。

キーボード、マウスなどを使う準備をして、パソコンにディスプレイや電源ケーブルを接続しましょう。

必要な機器を正しく接続しないと、パソコンは動いてくれません。あわてず確実に行ってください。接続がうまくいかないときは、無理に差し込まずに、コネクタの向きを確認しましょう。



ディスプレイを 接続する



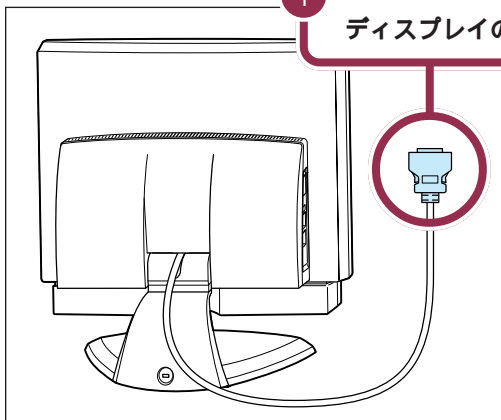
ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。

ディスプレイのケーブルを本体に接続します。プラグを奥までしっかり差し込みます。

15 型液晶ディスプレイの場合

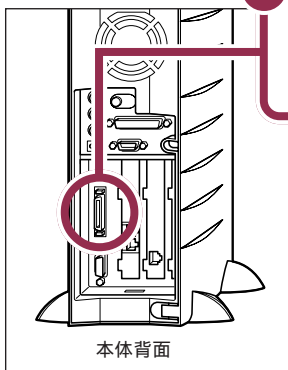
1

ディスプレイのプラグを持つ

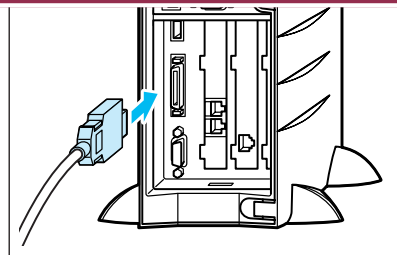


2

本体背面の **LCD** の付いたコネクタに、**プラグを奥までしっかり差し込む** 奥まで差しこむと、カチッと音がします。



本体背面



台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。

ディスプレイに電源ケーブルを接続する必要はありません。ディスプレイのケーブルをパソコン本体に接続するだけで、パソコン本体から電源が供給され、ディスプレイが使えるようになります。

用語

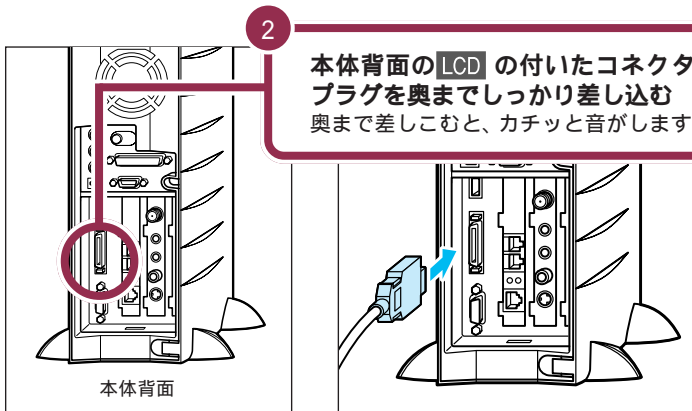
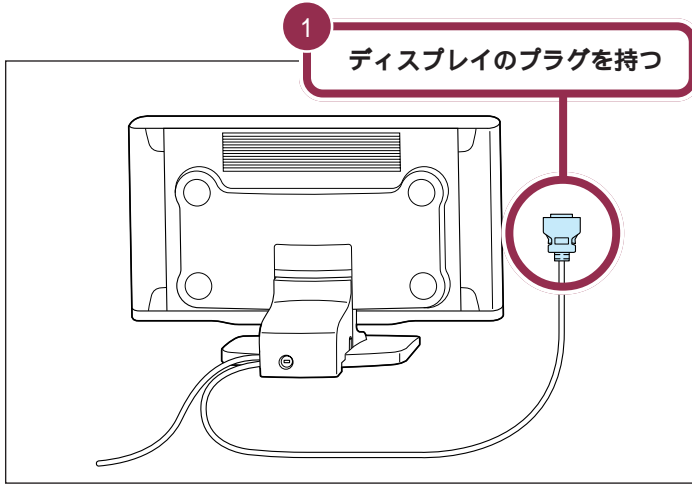
ディスプレイ

パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしています。絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているため、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

✓ **チェック!!**

- ・ プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。

17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合



台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

ディスプレイの電源ケーブルは、まだ接続しないでください。

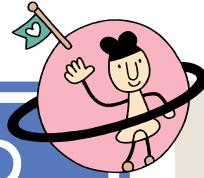
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの「ディスプレイの電源ケーブルを接続する(17.5型/17型/15.3型ワイド液晶ディスプレイのみ)」(p.28)をご覧ください。

✓ **チェック!!**

- ・ディスプレイケーブル、電源ケーブルは、スタンド部のケーブル引き出し口のどちらからも引き出すことができます。
- ・ディスプレイを設置するときは、スタンド部でケーブルを踏みつけないようケーブル引き出し口からケーブルを通してください。踏みつけると故障の原因になります。

✓ **チェック!!**

- ・プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・プラグを差しこむときは、左右均等に力を加えながら奥までしっかり差し込んでください。



キーボードとマウスの準備をする

キーボードとマウスに添付の乾電池を入れます。

警告



毒物注意

乾電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。乾電池内部には有害物質が含まれているため誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

注意



毒物注意

乾電池を分解しないでください。
有害物質が出て人体に悪影響を及ぼすことがあります。



けが注意

乾電池の内部の液がもれたときは、液に触れないでください。
やけどのおそれがあります。万一、液に触れた場合は水でよく洗い流した後、直ちに医師の診断を受けてください。



破裂注意

乾電池をショートさせないでください。
乾電池が破裂して、けがや火災の原因になります。



けが注意

乾電池を火の中へ入れないでください。
破裂して、けがや火災の原因になります。



発火注意

乾電池は必ず「アルカリ乾電池」を使用し、+（プラス）、-（マイナス）を正しく入れてください。
アルカリ乾電池以外の乾電池を使用したり、電池を正しく入れないと、破裂して、けがや火災の原因になります。

乾電池を充電したり、直接ハンダ付けしたりしないでください。

破裂して、けがや火災の原因になります。

用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボード一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

用語

マウス

パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使います。

チェック!!

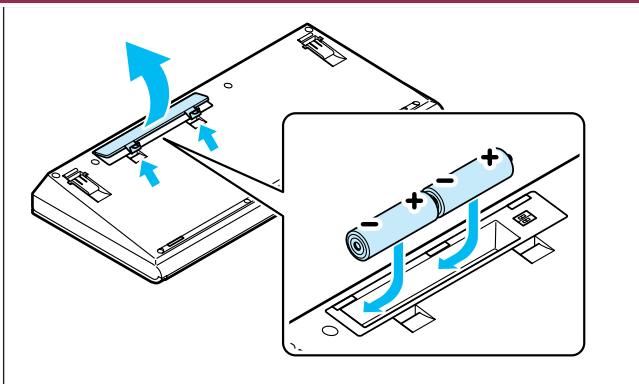
古い乾電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

キーボードとマウスに乾電池を入れる

このパソコンのキーボードとマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。ケーブルでパソコンと接続する必要はありません。これらの機器は乾電池を入れて使います。裏面の電池カバーのツメに指をかけて、引き上げるとフタが外れます。乾電池を入れたら、電池カバーを元に戻します。

1

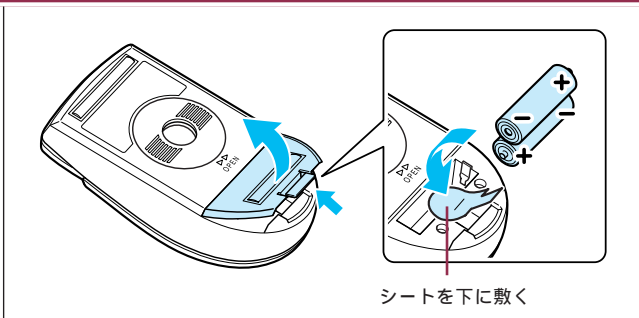
キーボードに、添付の単3形アルカリ乾電池2本を入れる



2

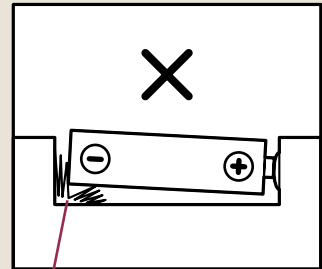
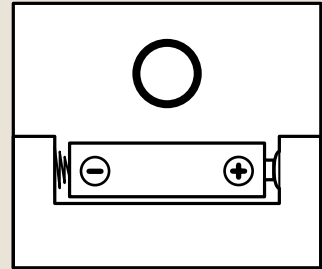
マウスに、添付の単4形アルカリ乾電池2本を入れる

内部についているシートを下に敷いて、乾電池を入れます。乾電池を取り出すときは、シートを引き抜くようにして乾電池を取り出します。



✓チェック!!

モデルによってキーボードの形状は異なりますが、電池の入れ方は同じです。乾電池は-(マイナス)側から正しく入れてください。



- (マイナス)側のバネを横に曲げないようにしてください

✓チェック!!

乾電池は誤った使い方をすると破裂するおそれがあります。次のことに注意してください。

- ・必ず「アルカリ乾電池」を使用してください。充電電池(ニカド電池、ニッケル水素電池など)、マンガン乾電池は使わないでください。
- ・長い間使わないときは、乾電池を取り出してください。
- ・+(プラス)と-(マイナス)の向きを、それぞれの電池ボックス内の表示通りに入れてください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- ・乾電池を交換するときは、すべての乾電池を新しいものと交換してください。
- ・古い乾電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例にしたがって廃棄してください。

キーボード、マウスの使える範囲

キーボードとマウスは無線でパソコンに信号を送ります。信号の受信機は、ディスプレイに内蔵されています。キーボードとマウスはディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の範囲でお使いください。



キーボード、マウスの電池寿命

- ・キーボードの電池寿命はご使用の環境や方法にもよりますが、アルカリ乾電池で最大300時間です。
- ・マウスの電池寿命はご使用の環境や方法にもよりますが、アルカリ乾電池で最大190時間です(マウスを持ちつづけていると動作状態となることがあります)。

乾電池を長持ちさせるための注意

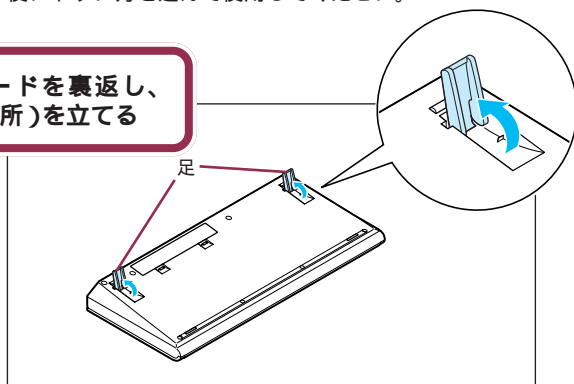
- ・キーボードのキーが押された状態が続くと、乾電池が短時間で消耗します。キーボードの上には物を置かないようにしてください。
- ・キーボードを持ち運んだり、長期保管するときは、必ず乾電池を取り出してください。
- ・マウスには、操作していないと自動的に省電力モードになり、乾電池の消耗を節約する機能がついています。操作していなくてもマウスに手をおいたままだと動作状態となり、省電力モードにならないことがあります。操作しないときは、なるべく、マウスから手を離すようにしてご使用ください。
- ・マウスのボタンが押し続けられたり、マウスのボールが動き続ける状態が続くと、省電力モードにならず、乾電池が短期間で消耗します。マウスを使わないときは振動させたりしないでください。また、マウスを持ち運んだり長期保管するときは、必ず乾電池を取り出してください。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、角度が変わります。足を立てずに使用することもできるので、使いやすい方を選んで使用してください。

1

キーボードを裏返し、足(2カ所)を立てる



電波の影響などにより、使える範囲に影響をおよぼすことがあります。

参照

電波の影響について『困ったときのQ&A』PART1の「マウス、キーボード」

電池切れにご注意

キーボードやマウスの反応が悪いときは、乾電池が消耗していることがあります。市販のバッテリーチェッカーなどによって電池容量が確認できた場合でも、キーボードやマウスでは画面に電池交換を促すメッセージが表示される場合や正しく入力できない場合があります。その場合は新しい電池と交換してください。完全に消耗した電池の場合は、警告メッセージが出ないことがありますので、万一に備えていつも予備の乾電池を用意しておきましょう。

VC300/1Dでは、ワイヤレスキーボードの電池が消耗したときにメッセージは表示されず、かわりに「ピー」というブザー音がキーを押すたびに鳴るようになります。

チェック!!

- ・モデルによってキーボード裏面の形状は異なりますが、足の立て方は同じです。
- ・足を立てるとき、カチッと音がするまで矢印の方向に立ててください。

電源ケーブルを 接続する



最後に、電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



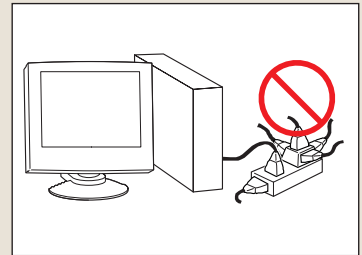
感電注意

電源ケーブルの上には、絶対に重いものをのせないでください。



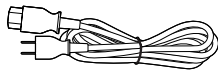
発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



用意するもの

パソコン本体用電源ケーブルは、パソコンに添付のものをお使いください。

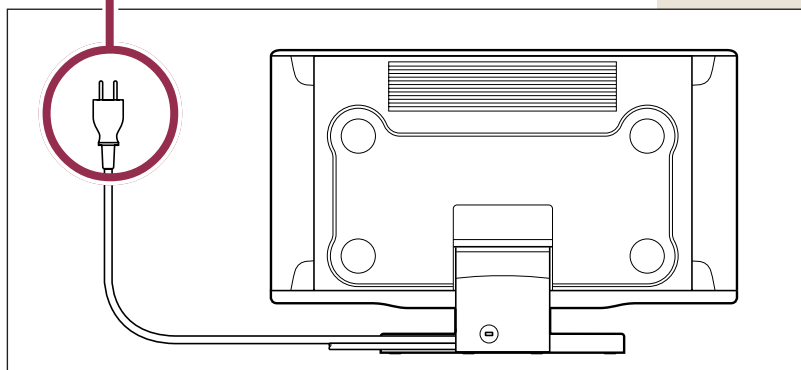


パソコン本体用電源ケーブル

ディスプレイの電源ケーブルを接続する(17.5型/17型/15.3型ワイド液晶ディスプレイのみ)

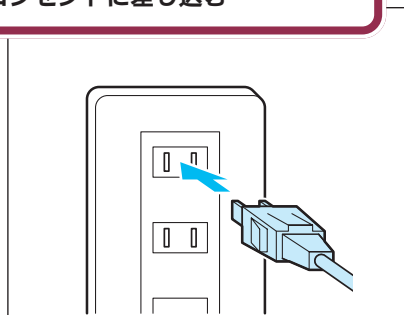
1

ディスプレイの電源プラグを持つ



2

電源ケーブルのプラグを壁などのコンセントに差し込む



✓**チェック!!**

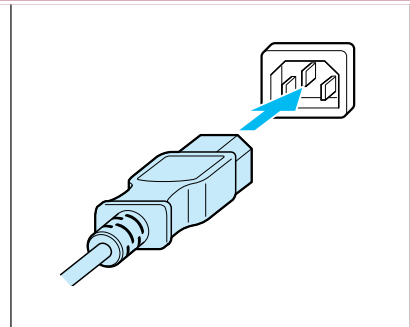
- ・15型液晶ディスプレイには、ディスプレイの電源ケーブルはありません。
- ・ディスプレイケーブル、電源ケーブルは、スタンド部のケーブル引き出し口のどちらからも引き出すことができます。
- ・ディスプレイを設置するときは、スタンド部でケーブルを踏みつけないようケーブル引き出し口からケーブルを通してください。踏みつけると故障の原因になります。

パソコン本体に電源ケーブルを接続する



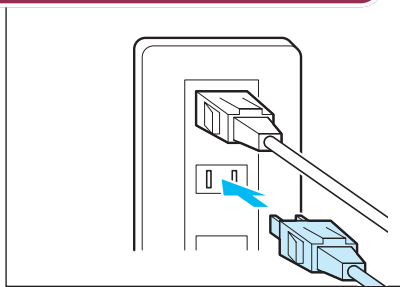
1

電源ケーブルの片方の端を、本体背面の
コネクタの奥までしっかり差し込む



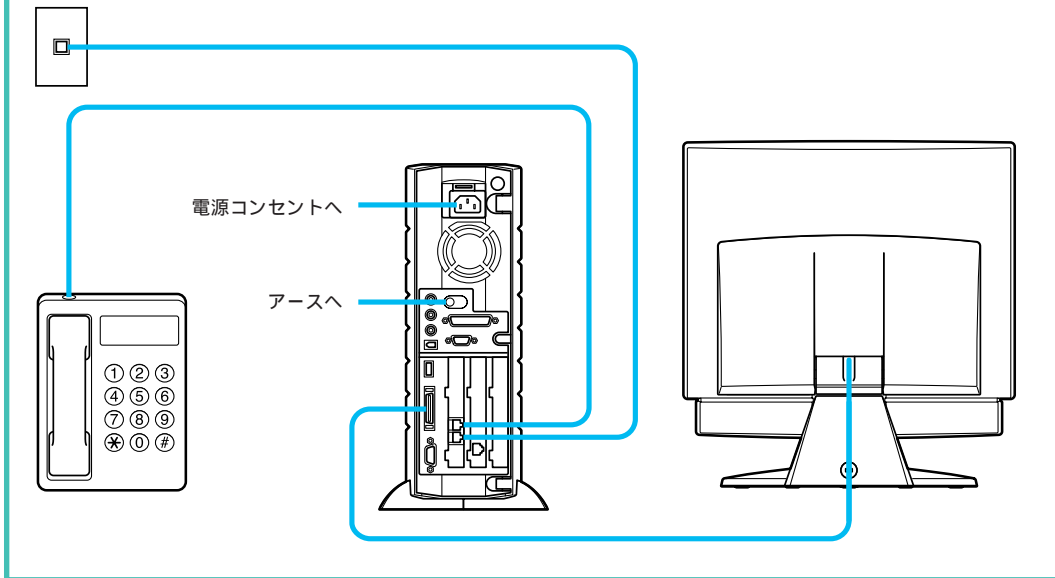
2

電源ケーブルのもう一方のプラグ
を壁などのコンセントに差し込む



これで接続は完了です。

接続完成図(背面)



- ・ディスプレイ、本体背面の形状はモデルによって異なります。
- ・17.5型/17型/15.3型ワイド液晶ディスプレイの場合、ディスプレイの電源ケーブルを接続する必要があります。
- ・TVモデルの場合、この他にリモコンの準備、アンテナ線や音声ケーブルの接続が必要です。これらの作業は、「PART5 電源を入れてパソコンをできるようにする」(p.41)のあとで行ってください。詳しくは、『TVモデルガイド』をご覧ください。

接続完成図(前面)



ディスプレイ、キーボードの形状はモデルによって異なります。

プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART5 電源を入れてパソコンをできるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『もっと知りたいパソコン』をご覧になり、接続と設定を行ってください。

✓チェック!!

電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

PART

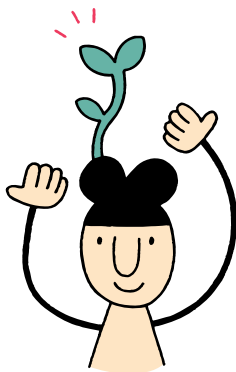
4

パソコンの接続を完了させる (USB キーボード、USB マウスの場合)

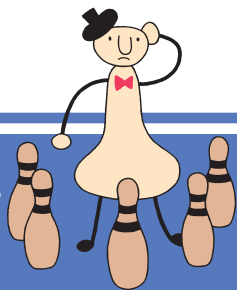
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスがセットのモデルをご購入された方は、「PART3 パソコンの接続を完了させる(ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスの場合)」(p.21)をご覧ください。

パソコンにキーボード、マウス、ディスプレイや電源ケーブルなどを接続しましょう。

必要な機器を正しく接続しないと、パソコンは動いてくれません。あわてず確実に行ってください。接続がうまくいかないときは、無理に差し込まずに、コネクタの向きを確認しましょう。



ディスプレイを 接続する



ディスプレイのケーブルを、本体背面に接続します。プラグの向きに注意して奥まで差し込んだら、ネジでしっかりと固定しましょう。

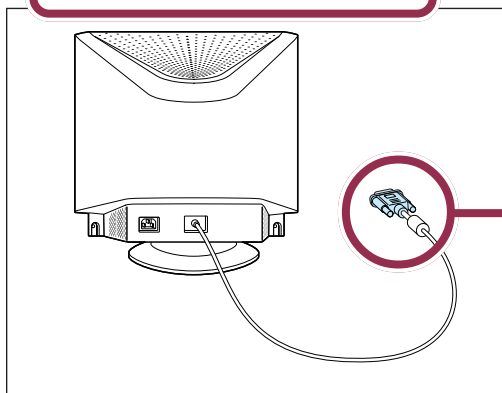
用語

ディスプレイ

パソコンの画面を表示する道具です。「モニター」と呼ばれることもあります。テレビのような形をしていますが、絵や文字を表示するための信号はパソコンから受け取っているため、ディスプレイだけでは何も見ることはできません。

1

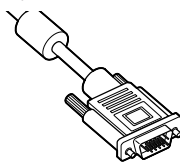
ディスプレイのプラグを持つ



2

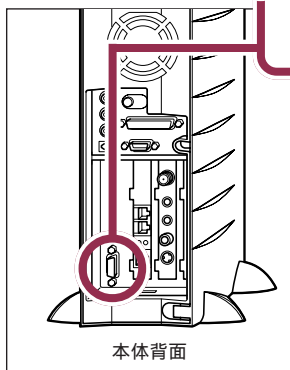
プラグの向きを確認する

台形の金具の長い辺が右を向くようにする

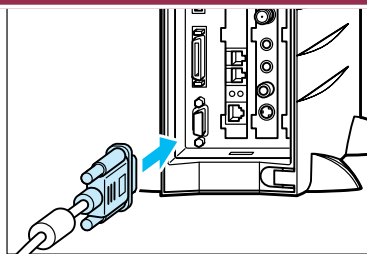


3

本体背面の の付いたコネクタに、プラグを奥までしっかり差し込む



本体背面



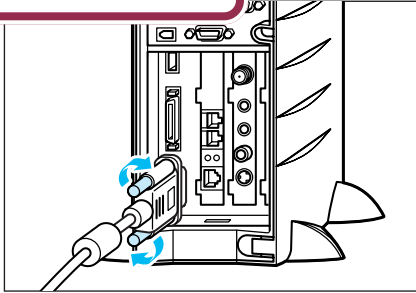
台形の金具の長い辺が右側になるように差し込む

チェック!!

- ・プラグがうまく差し込めないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。力まかせに押し込むと、コネクタを壊してしまうおそれがあります。
- ・ディスプレイのプラグは、奥までしっかり差し込んでください。差し込み方が浅い場合、うまくネジ止めできないことがあります。
- ・プラグのネジは、両方均等に力を加えながら締めてください。片方だけ締めると、接続不良になることがあります。

4

ネジのつまみを指で右へ回し、
止まるまでしっかり固定する



ディスプレイ用電源ケーブルは、まだ接続 しないでください。

キーボードを先に接続する必要があります。
ディスプレイ用電源ケーブルを接続する場合は、このPARTの
「ディスプレイに電源ケーブルを接続する」(p.38)をご覧ください。



キーボードとマウスの接続をする

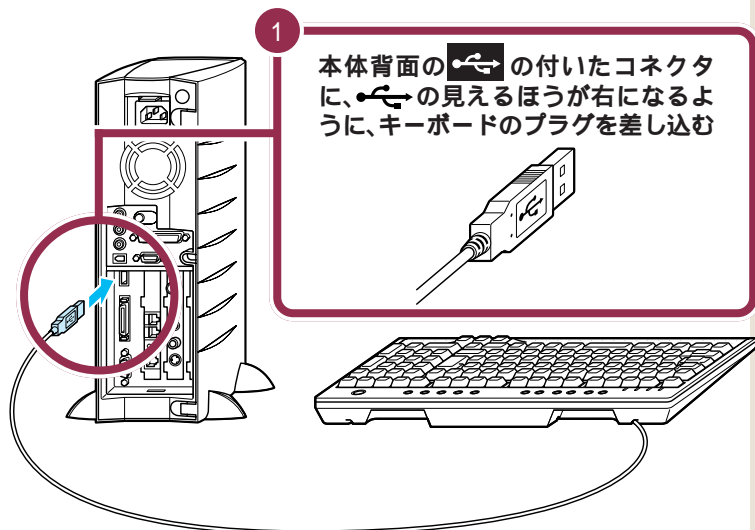
本体背面に、キーボードとマウスを接続します。

用語

キーボード

パソコンで文字や数字を書くための道具です。キーボードの一面に並んでいる押しボタンのことを「キー」と呼びます。いまはまだ、それぞれのキーの意味や働きについて気にする必要はありません。

本体にキーボードを接続する

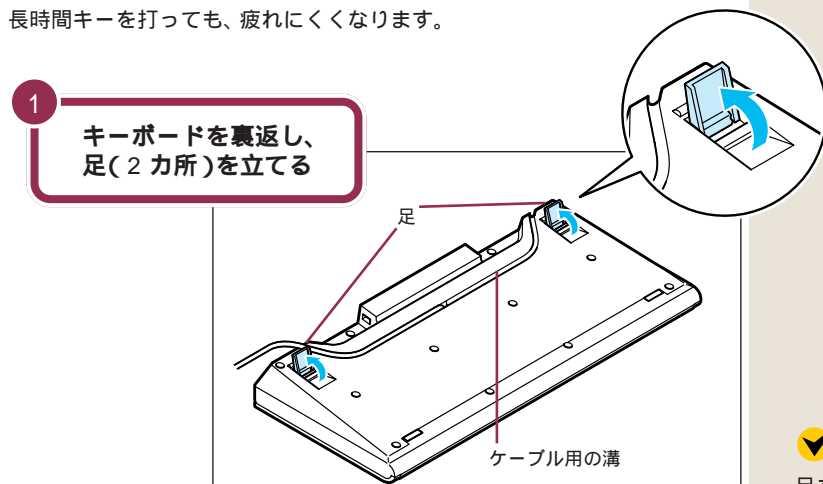


チェック!!

キーボードのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(左右の向き)を確認してください。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードがしっかり安定するだけでなく、長時間キーを打っても、疲れにくくなります。



チェック!!

足を立てるとき、カチッと音がするまで矢印の方向に立ててください。

キーボードは足を立てずに使用することもできます。その場合、キーボードのケーブルを「ケーブル用の溝」に押し込むと、安定します。

マウスを接続する

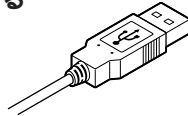
1

マウスのプラグ(黒色)を持つ



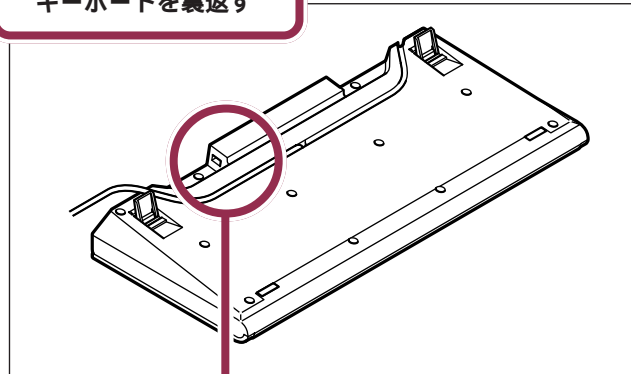
2

マウスのプラグの向きが上になるようにする



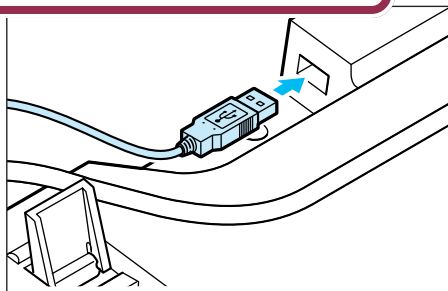
3

キーボードを裏返す



4

キーボード裏側のマウスの向きが上になるように、マウスのプラグを差し込む



用語

マウス

パソコンを操作するための道具です。パソコンの画面に出てくるボタンを押したりするときに使います。机の上で動かして使う小さな道具で、ケーブルがしっぽのように見えるところから、マウス(ねずみ)と呼ばれます。

キーボード底面には、マウスの向きが上になるように、マウスのプラグを差し込む

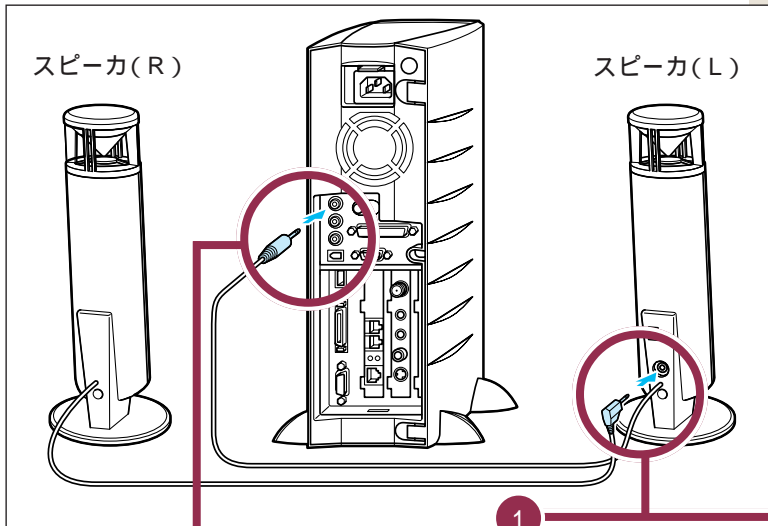
チェック!!

マウスのプラグは、力を入れて無理に差し込まないでください。力を入れなくてもスムーズに差し込めます。うまくいかないときは、もう一度プラグの方向(上下の向き)を確認してください。



外付けスピーカを接続する

プラグを差し込む前に、コネクタの位置を確認しましょう。



スピーカと音について


CRTディスプレイをお使いの場合は、外付けスピーカを取り付けないとパソコンの音は聞けません。パソコンの音を聞きたいときに取り付けてください。

電源スイッチやボリュームのついている方が、スピーカ(L)です。もう一方が、スピーカ(R)です。

1

スピーカ(R)のプラグを、スピーカ(L)の口の付いたコネクタに差し込む

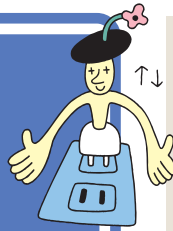
2

スピーカ(L)のプラグを、本体背面の「」の付いたコネクタ(3つのコネクタのうち一番上)に差し込む

スピーカのACアダプタは、まだ接続しないでください。

スピーカのACアダプタを接続する場合は、このPARTの「スピーカにACアダプタを接続する」(p.38)をご覧ください。

電源ケーブルを 接続する



最後に、電源ケーブルを接続します。

⚠ 注意



感電注意

濡れた手で電源ケーブルやACアダプタのプラグを抜き差ししないでください。

感電の原因になります。



発火注意

タコ足配線にしないでください。

タコ足配線にすると、コンセントが過熱し、火災の原因になります。



感電注意

電源ケーブルやACアダプタの上には、絶対に重いものをのせないでください。



発火注意

ケーブルに傷がついて、感電や火災の原因になります。



感電注意

スピーカのACアダプタは、添付のスピーカ専用ACアダプタを使用してください。



発火注意

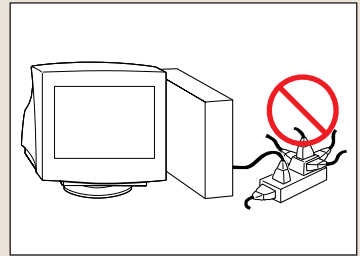
添付以外のACアダプタを使用すると、感電、発煙、発火の原因になります。



発火注意

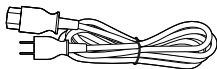
スピーカのACアダプタの、ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げないでください。

壁に押しつけて曲がった状態など、ケーブルのつけ根部分を圧迫するような状態で使用すると、発煙、火災の原因になります。

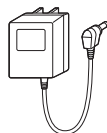


用意するもの

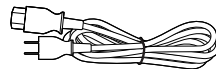
ディスプレイ用電源ケーブルはディスプレイの箱に入っていたものを、スピーカ用ACアダプタはスピーカセットの収納箱に入っていたものをお使いください。また、パソコン本体用電源ケーブルはパソコンに添付のものをお使いください。



CRTディスプレイ用電源ケーブル

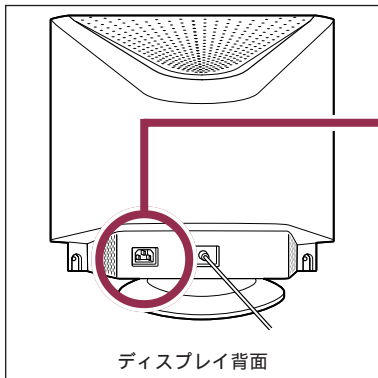


スピーカ用 AC アダプタ



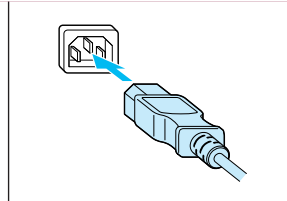
パソコン本体用電源ケーブル

ディスプレイに電源ケーブルを接続する



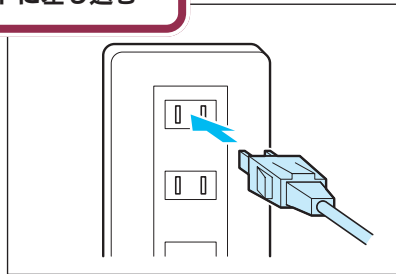
1

ディスプレイ用電源ケーブルの片方の端を、奥までしっかり差し込む



2

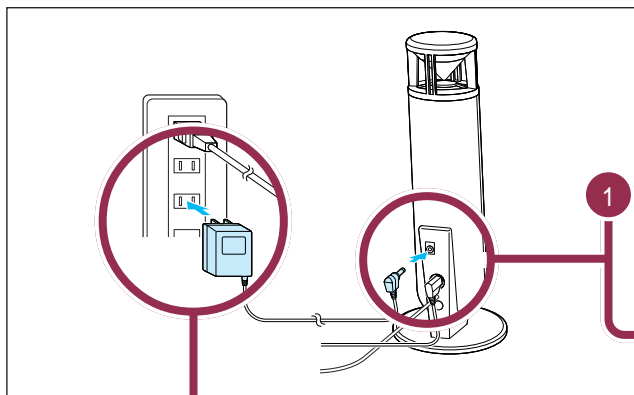
電源ケーブルのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む



スピーカに AC アダプタを接続する

下の図を参考に AC アダプタを接続してください。

ACアダプタは、スピーカセットの収納箱に入っています。



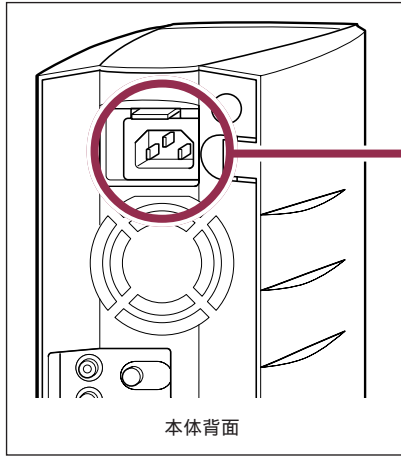
1

スピーカ(L)背面のDC9Vと書かれたコネクタに AC アダプタのプラグを差し込む

2

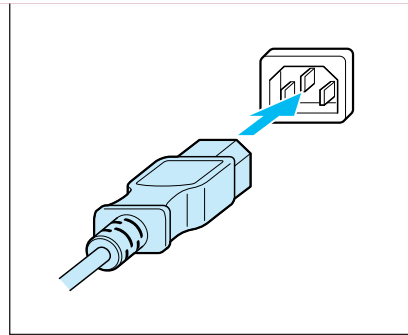
AC アダプタを壁などのコンセントに差し込む

パソコン本体に電源ケーブルを接続する



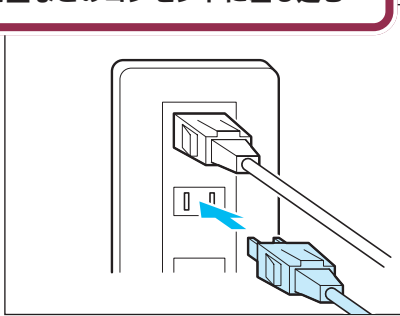
1

電源ケーブルの片方の端を、本体背面の
コネクタの奥までしっかり差し込む



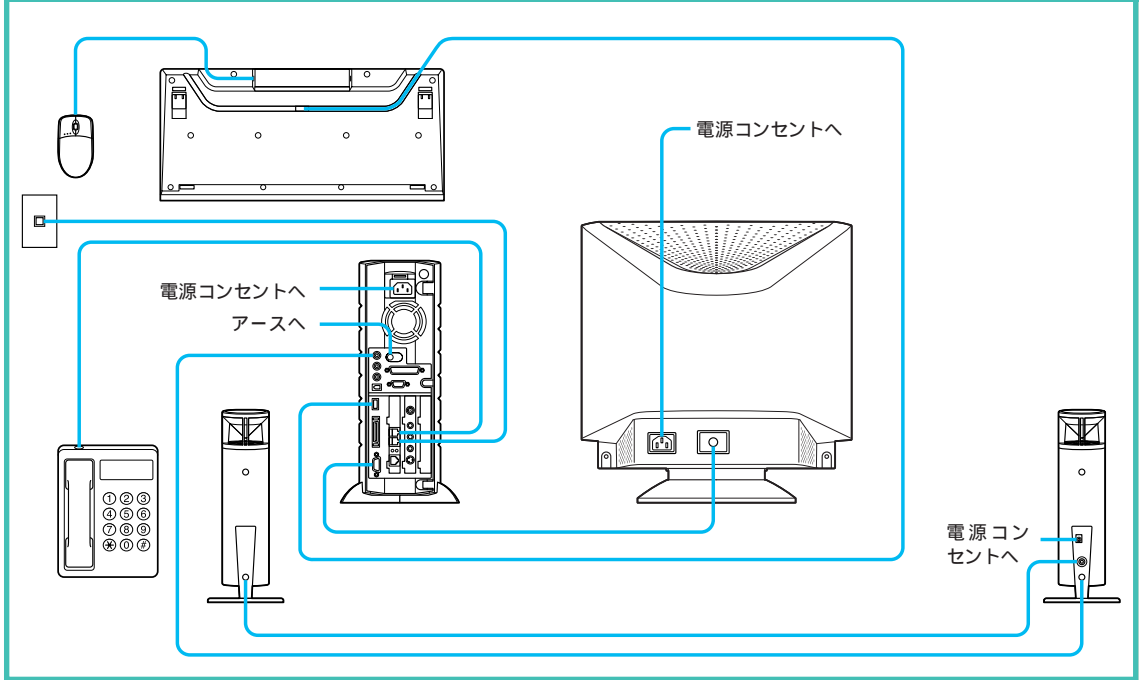
2

電源ケーブルのもう一方のプラグ
を壁などのコンセントに差し込む



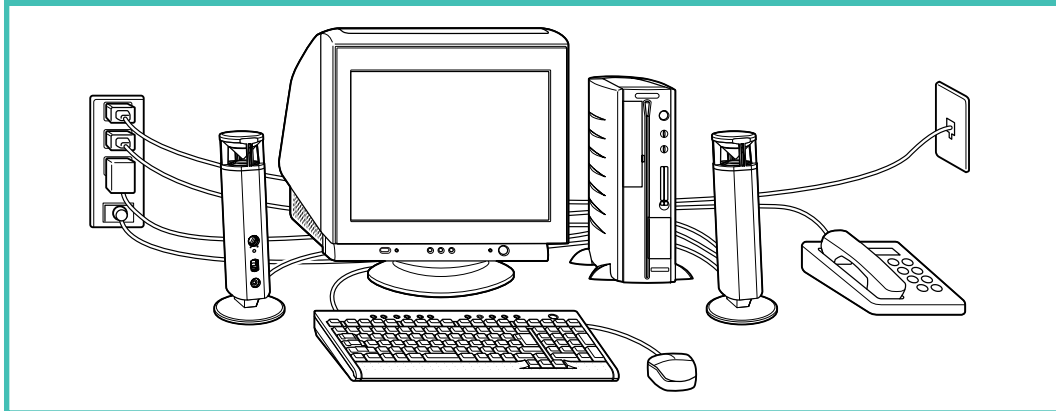
これで接続は完了です。

接続完成図(背面)



TVモデルの場合、この他にリモコンの準備、アンテナ線や音声ケーブルの接続が必要です。これらの作業は、「PART5 電源を入れてパソコンをできるようにする」(p.41)のあとで行ってください。詳しくは、『TVモデルガイド』をご覧ください。

接続完成図(前面)



プリンタなど、周辺機器の接続は、あとから

プリンタや別売の周辺機器がある場合、まだ接続しないでください。このあとの「PART5 電源を入れてパソコンをできるようにする」の操作を先に完了させる必要があります。そのあとで『もっと知りたいパソコン』をご覧ください。接続と設定を行ってください。

✓チェック!!

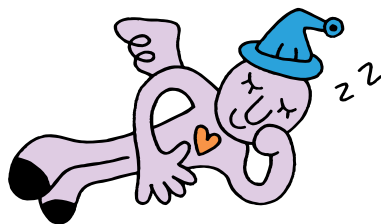
電源ケーブル、電話回線の接続に使ったモジュラーケーブルなどが、人の通る場所がないことを再確認してください。ケーブルを足に引っかけたりすると、パソコンの故障の原因になるだけでなく、思わぬけがをすることもあります。

PART

5

電源を入れて パソコンを使えるようにする

パソコンの接続は終わっていますね。それでは、いよいよ電源を入れます。最初に電源を入れるときは、このパソコンを使えるようにするためのセットアップ作業が必要です。この作業が終わらないと、パソコンは使えるようになりません。このあとの説明をよく読んで、ゆっくり確実に操作してください。





セットアップを はじめる

セットアップをはじめてから、パソコンを使えるようになるまで、約 30 分程度かかります。

用語

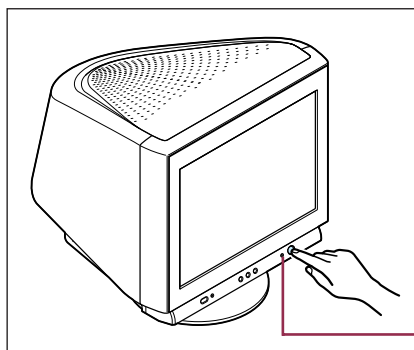
セットアップ

パソコンを使えるようにすることを、セットアップといいます。セットアップが終わると、インターネット、ワープロ、表計算、ゲームなど、このパソコンの様々な機能が使えるようになります。

CRT ディスプレイの電源を入れる(CRT ディスプレイの場合)

1

ディスプレイの電源スイッチを押す

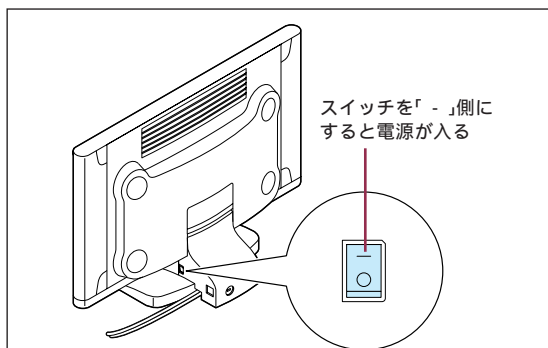


ディスプレイの電源ランプ
が点灯する

液晶ディスプレイの電源を入れる(17.5 型/17 型/15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合)

1

ディスプレイの電源スイッチを「-」側に押す

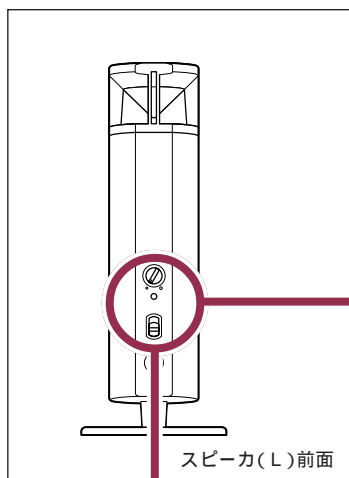


スイッチを「-」側に
すると電源が入る

ディスプレイ前
面の電源ランプ
が点灯する

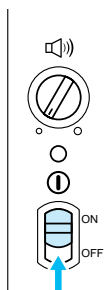
スピーカの電源を入れる(スピーカ添付モデルのみ)

CRTディスプレイをお使いの場合は、スピーカの電源を入れないとパソコンの音は聞けません。パソコンの音を聞きたいときはスピーカの電源を入れてください。

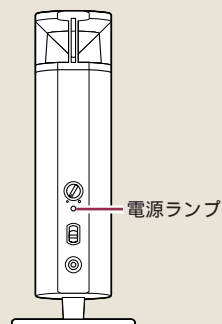


1

電源スイッチをONにする
スピーカの電源ランプが点灯します。

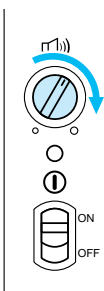


スピーカ(L)



2

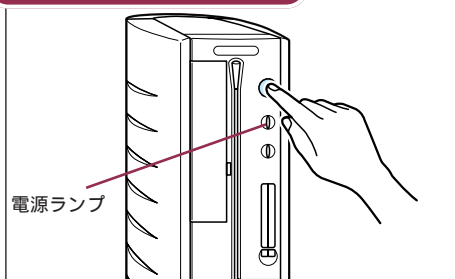
ボリュームつまみを回す
右に回すと音が大きくなり、左に回すと音が小さくなります。



パソコン本体の電源を入れる

1

パソコン本体の電源スイッチを押す



パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯する

✓チェック!!

電源スイッチを押しても電源ランプが点灯しない場合、電源ケーブルの接続が不完全であることが考えられます。PART3の「電源ケーブルを接続する」(p.27)または、PART4の「電源ケーブルを接続する」(p.37)をご覧ください。

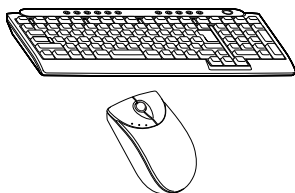
画面が表示されるまで、何分かかかることがあります

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスがセットのモデルの場合、パソコンの電源スイッチを押してから画面が表示されるまでに数分かかることがあります。その間、画面が真っ暗なままになることがあります。故障ではありません。あわてて電源を切ったりせずそのままお待ちください。

操作の途中で電源を切らない！！

p.60 までの操作がすべて終わるまでには、約 30 分かかります。p.60 の手順が完了するまでは、絶対に電源を切らないでください。もちろん、電源ケーブルをいきなり抜いたりしてはいけません。パソコンが使えるようになる前に電源を切ると、故障の原因になります。万一、停電やコンセントが抜けたなどの理由で電源が切れてしまった場合は、一度電源ケーブルを抜き、もう一度接続し直した後、電源スイッチを押してください。画面が表示される場合は、セットアップを続けてください。画面が表示されない場合は、ご購入元または NEC にお問い合わせください。

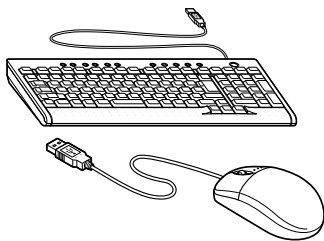
ここからの手順は、お使いのモデルによって異なります。
お使いのモデルのキーボードとマウスのタイプを確認して、あてはまるページへ進んでください。



ワイヤレスキーボード、
ワイヤレスマウスの場合

次のページから始める

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの登録を行います。



USB キーボード、
USB マウスの場合

p.51 へ進む

Windows のセットアップへ進みます。

キーボードとマウスを使えるようにする(ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスのみ)

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスを使うには、キーボードとマウスの登録(ディスプレイに内蔵された受信機にキーボードとマウスを認識させる作業)が必要です。登録をする前に、まず次のことを確認してください。

- ・キーボードとマウスに乾電池が正しく取り付けられている
- ・キーボードとマウスがディスプレイから約1m以内、左右約45度以内の場所に置かれている
- ・液晶ディスプレイの電源スイッチがONになっている(15型液晶ディスプレイを除く)

ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウスがセットのモデルの場合、電源を入れるとキーボードとマウスの登録画面が表示されます。キーボードとマウスの登録が済んでいないとこの後のセットアップ作業が行えませんので、必ずここで登録を済ませてください。

USBキーボード、USBマウスがセットのモデルの場合は、電源を入れるとp.51の画面が表示されますので、そのままセットアップを進めてください。

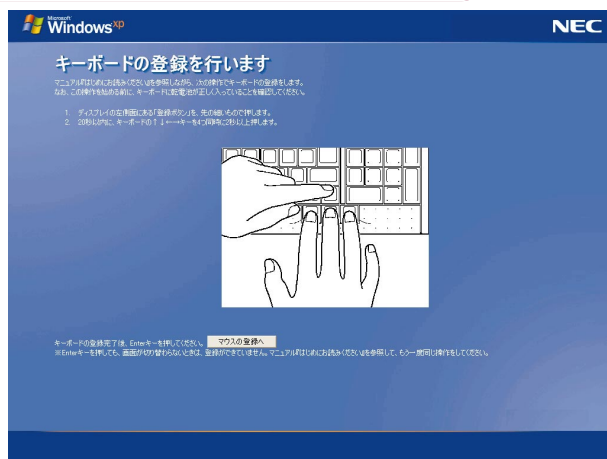
✓チェック!!

- ・同製品のパソコンを複数台、近くで同時に登録しないでください。正しく登録されない場合があります。
- ・ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチがすべて同じ設定になっていることを確認してください(ご購入時は同じ設定になっています)。

最初の数分は、パソコンが自動的に内部をチェックするので、画面の表示がいろいろ変化したり、真っ暗になったりします。左の画面が出るまで、何もせずに待ってください。

1

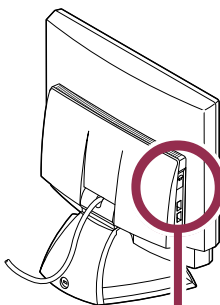
次の画面が表示されていることを確認する



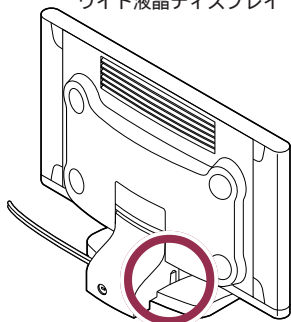
2

ディスプレイ左側面を見る

15型液晶
ディスプレイ



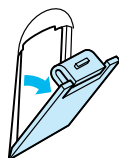
17.5型/17型/15.3型
ワイド液晶ディスプレイ



3

カバーを取り外す

上側のツメを外してから取り外します。



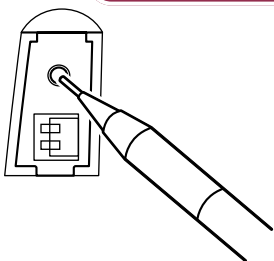
キーボードの登録をする前に

これからキーボードの登録作業を行います。キーボードの登録作業は20秒以内に完了させる必要があります。まずは手順4と手順5を一度よく読んでから、実際の登録作業を行ってください。

4

シャープペンシルの先などで「登録ボタン」を押す

登録モードになり、ディスプレイのランプ(☑ I A H)がすべて点灯します。

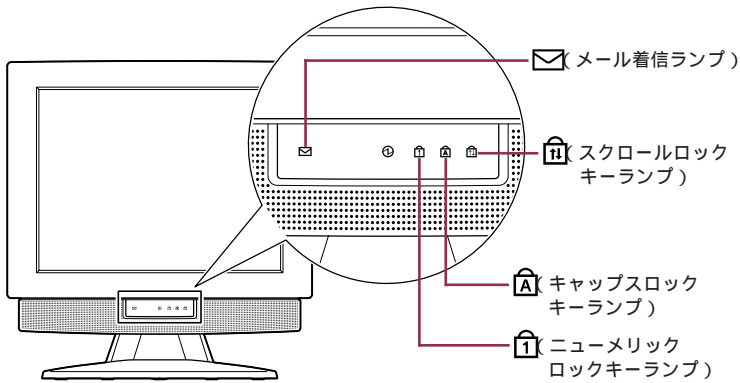


✓チェック!!

- ・液晶ディスプレイの種類によってカバーの形状は異なりますが、取り外し方は同じです。
- ・外したカバーは、なくさないようにしてください。
- ・カバーを外したときに、隙間から金属等の異物を入れないように注意してください。

✓チェック!!

ランプがすべて点灯しないときは、「登録ボタン」がきちんと押されていません。「登録ボタン」を押し直してください。
このとき強く押し込み過ぎると故障の原因になります。

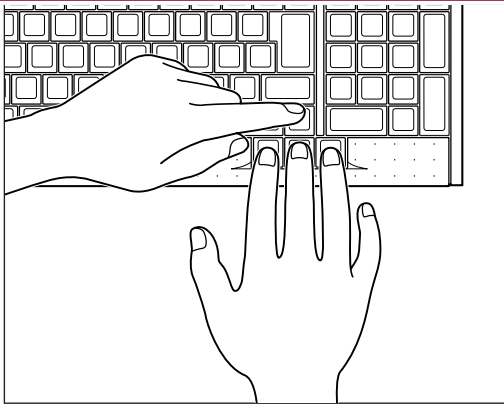


15 型液晶の場合

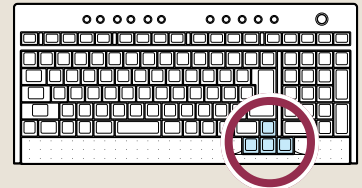
5

キーボードの 、、、 の 4 つのキーを同時に 2 秒間以上押しつづける

登録が完了すると、登録モードが解除され、ディスプレイのランプが元の状態に戻ります。ご購入時の状態では、 のランプが消えます。




液晶ディスプレイによって、ランプの位置は異なります。

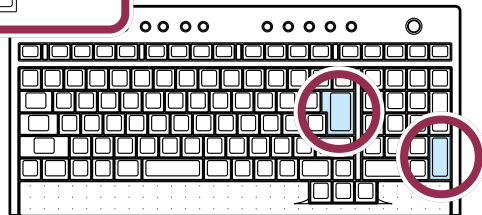


✓ チェック!!

- ・モデルによってキーボードの形状は異なりますが、キーの位置は同じです。
- ・ディスプレイ前面のランプが点灯したら、20秒以内に手順5を行ってください。20秒を過ぎるとランプが消え、登録が無効になります。この場合、もう一度手順4からやり直してください。




6 キーボードの  を押す

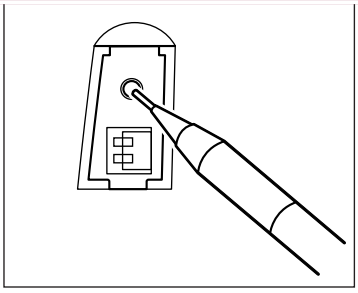
この画面に変わる



マウスの登録をする前に

これからマウスの登録作業を行います。マウスの登録作業は20秒以内に完了させる必要があります。まずは手順7と手順8を一度よく読んでから、実際の登録作業を行ってください。

7 ディスプレイ左側面の「登録ボタン」を押す
登録モードになり、ディスプレイのランプ(  )がすべて点灯します。



【Enter】キーは2カ所にあります。どちらを押しても構いません。

キーボードの形状はモデルにより異なります。





 **チェック!!**

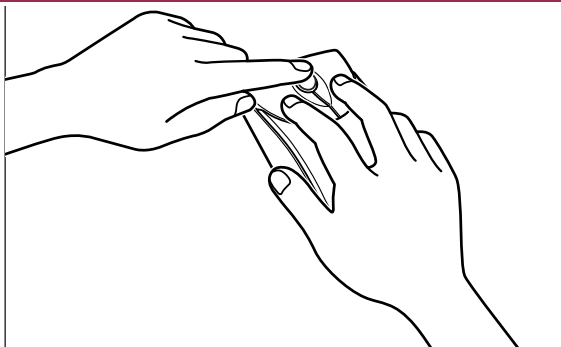
左の画面が表示されない場合は、キーボードの登録がうまくいっていません。もう一度手順4からやり直してください。

 **チェック!!**

ランプがすべて点灯しないときは、「登録ボタン」がきちんと押されていません。「登録ボタン」を押し直してください。
このとき強く押し込みすぎると故障の原因になります。

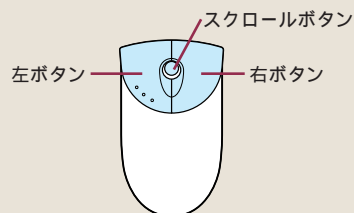
8

マウスの左ボタン、右ボタン、真ん中のボタン(スクロールボタン)の3つのボタンを同時に2秒間以上押しつづける
登録が完了すると、登録モードが解除され、ディスプレイのランプが元の状態に戻ります。ご購入時の状態では、   のランプが消えます。




✓チェック!!

ディスプレイ前面のランプが点灯したら、20秒以内に手順8を行ってください。20秒を過ぎるとランプが消え、登録が無効になります。この場合、もう一度手順7からやり直してください。



9

に(矢印)を合わせて、マウスの左ボタンを1回押す

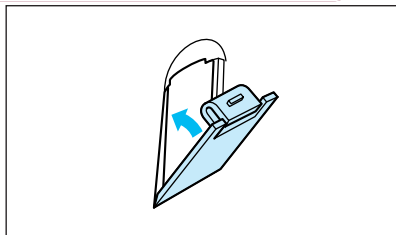


✓チェック!!

マウス操作に慣れていない方は、このPARTの「マウスを動かしてみる」(p.52)をご覧ください。

10

ディスプレイ左側面のカバーを取り付ける



これで、キーボードとマウスが使えるようになりました。

✓チェック!!

液晶ディスプレイの種類によってカバーの形状は異なりますが、取り付け方は同じです。

登録がうまくいかないときは

次のことを確認してください。

- ・キーボードとマウスに乾電池が正しく取り付けられているか？
- ・キーボードとマウスが液晶ディスプレイから約 1 m 以内、左右約 45 度以内の場所に置かれているか？
(周囲の環境により、周辺から電波の影響を受けて、うまく動作しないことがあります。なるべく液晶ディスプレイに近づけて使用してください。)
- ・液晶ディスプレイの電源スイッチは ON になっているか？(15 型液晶ディスプレイを除く)
- ・液晶ディスプレイのランプが点灯してから 20 秒以内に登録の操作をしたか？
- ・液晶ディスプレイ、キーボード、マウスのディップスイッチの設定は、すべて同じに設定になっているか？
ご購入時の状態ではすべて同じ設定になっていますが、どうしても登録がうまくいかない場合は、ディップスイッチの設定を確認してください。

参照

キーボードやマウスの乾電池の取り付け方 PART3 の「キーボードとマウスの準備をする」(p.24)

参照

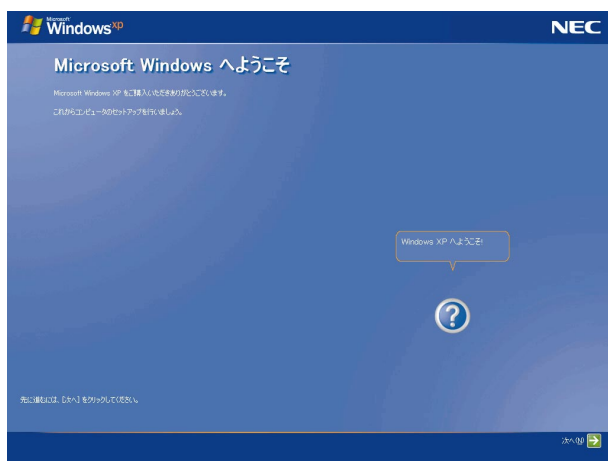
ディップスイッチの設定 『困ったときの Q&A』PART1 の「マウス、キーボード」の「ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボードが正しく動作しない」

セットアップをはじめる前に

ここからはすべてのモデルで共通の手順です。

1

次の画面が表示されていることを確認する



セットアップ中に困ったときは、画面右下の(?)をクリックするかキーボードの【F1】を押して、表示された項目をクリックしてください。解決のしかたが表示されます。まちがってメッセージを表示してしまった場合は、「表示しない」をクリックしてメッセージを消してください。

パソコンの操作はあわてずに！

パソコンを使っているときに、次の画面に切り替わるまで、少し時間がかかることがよくあります。これは、パソコンの内部で設定などの準備処理が行われているためです。「しばらくお待ちください」といったメッセージや⌚が出ているときは、キーを押したり、マウスのボタンを何度も押ししたりしないようにしてください。



ポイント

「しばらくお待ちください」といったメッセージや⌚(砂時計)が表示されているときは、パソコンが内部で処理を行っている。これらが表示されている間は、何も操作せずに待つ。

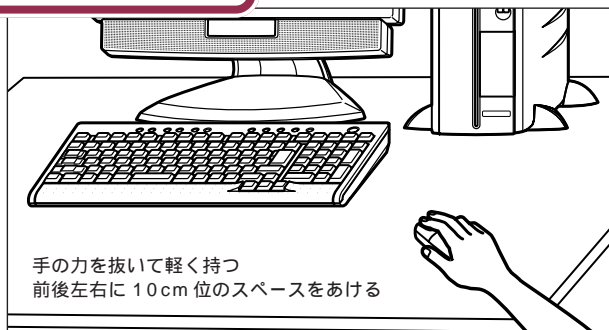
ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、液晶ディスプレイから約 1 m 以内、左右約 45 度以内の場所で使う

ワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスは、無線でパソコンに信号を送ります。信号の受信機は、液晶ディスプレイに内蔵されています。周囲の環境により、周辺からの電波の影響でうまく動作しないことがありますので、なるべく液晶ディスプレイに近づけて使用してください。

マウスを動かしてみる

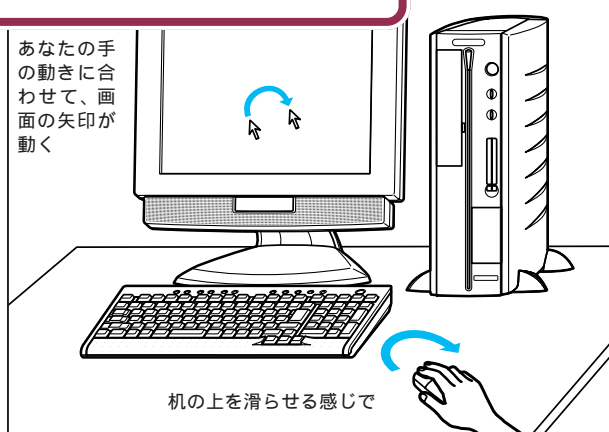
1

右手でマウスを持つ



2

マウスを前後左右に動かしてみる



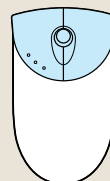
ポイント

マウスは軽く持って、机の上を滑らすように動かす。
マウスの動きに応じて、画面の矢印が動く。

ここではワイヤレスマウスを使って説明しています。USBマウスでの操作方法も同じです。

✓チェック!!

次ページまでは、マウスの上にある3つのボタンを押さないでください。



マウスを動かすために、マウスの前後左右に10cm位のスペースをあけておいてください。

マウスは、親指と薬指で軽くつかんで机の上を滑らせるように動かします。肩の力を抜いて、手首だけで動かすようにすることがコツです。

マウスの練習は、「パソコンのいろは」でできます。ここではマウスの動きに合わせて矢印が動くことがわかれば十分です。

📖参照

「パソコンのいろは」について『使っておぼえるパソコンの基本』の「PART1「パソコンのいろは」で基本操作に挑戦」

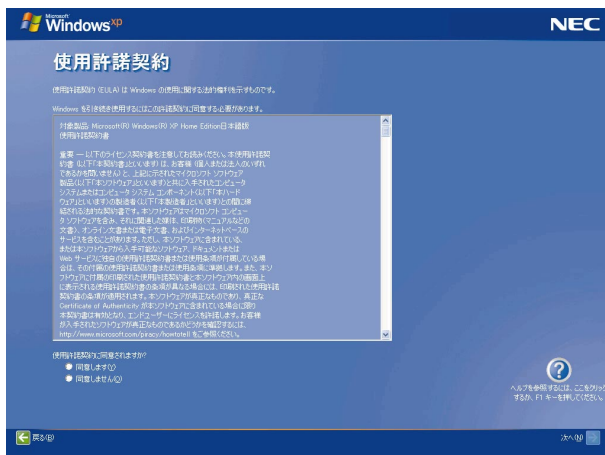
「次へ」をクリックする



2 マウスの左ボタンを1回押す



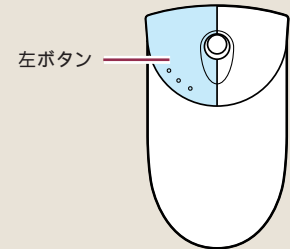
↓ マウスの左ボタンを押すと、画面が変わる



用語

クリック

画面の文字や絵などに矢印を合わせ、マウスの左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。「クリック」は、マウスを使うときの最も基本的な操作方法なので、このあとの手順でも同じ操作が何度も出てきます。しっかりマスターしてください。



使用許諾契約とは？

このパソコンを使えるようにするには、パソコンに入っているソフトウェアを違法にコピーして他人に渡したりしないという契約に同意しなければなりません。同意していただけない場合は、このパソコンを使うことができません。

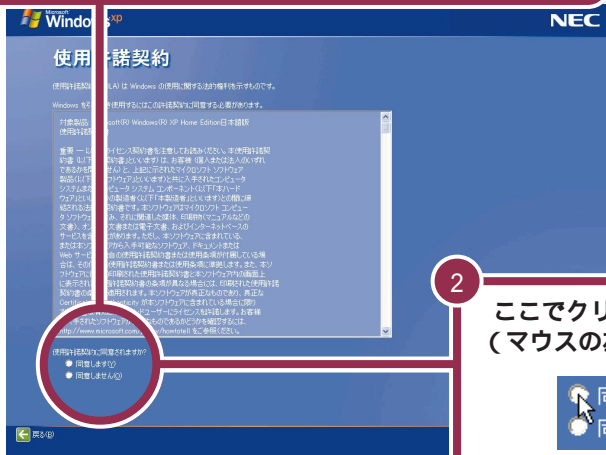
契約書の文章が表示された欄の右に▼があります。この▼の上に矢印を合わせてクリックすると、続きを読むことができます。このように、画面に内容の一部だけが表示されている場合に、表示する部分を移動させることを「スクロール」と呼びます。

使用許諾契約に同意する

1

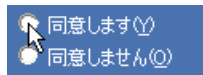
「同意します」の左にある  に(矢印)を合わせる

 の内側に矢印の先端が来るようにする

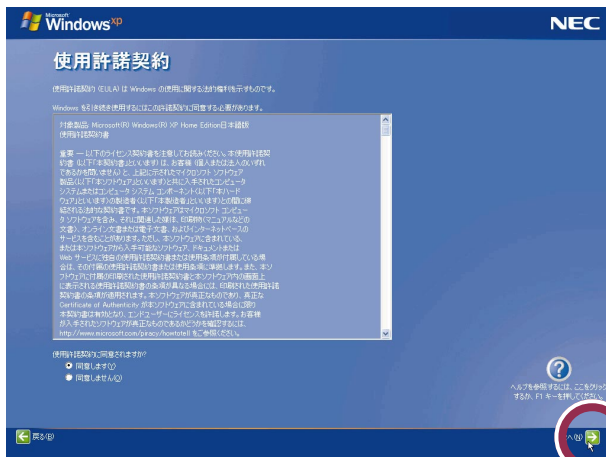


2


ここでクリックする
(マウスの左ボタンを1回押す)



 同意します  が  同意します  になる

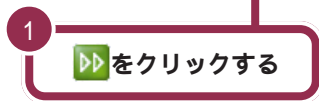
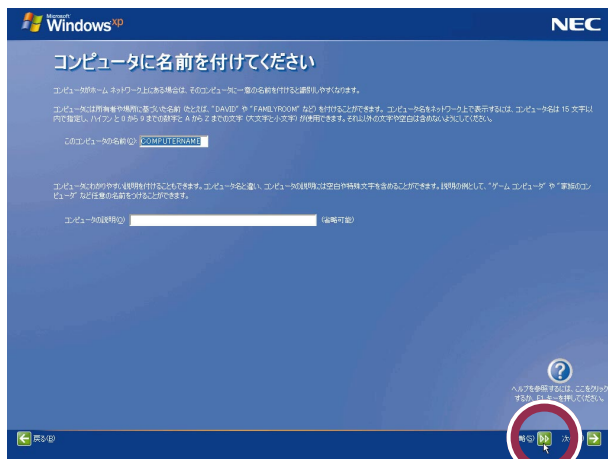


3

 に(矢印)を合わせて、
クリックする

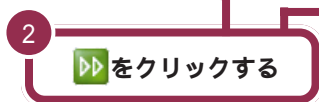
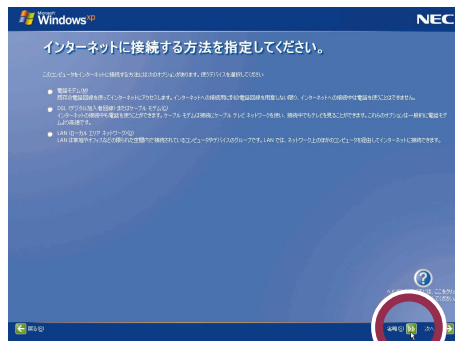
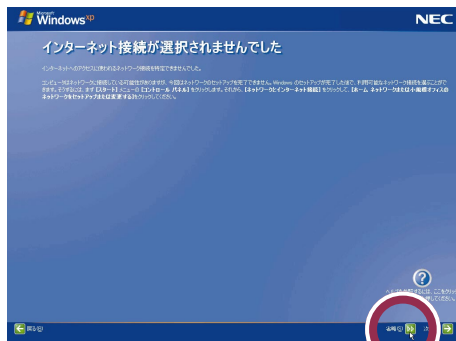
次の画面が表示される


セットアップをつづける




この後の手順は、お使いの機種によって表示される画面が異なります。
次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。





「インターネット接続が選択されませんでした」画面または、「インターネットに接続する方法を指定してください」画面が表示された場合 **手順 へ進む**
次ページの「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか?」画面が表示された場合 **手順 へ進む**

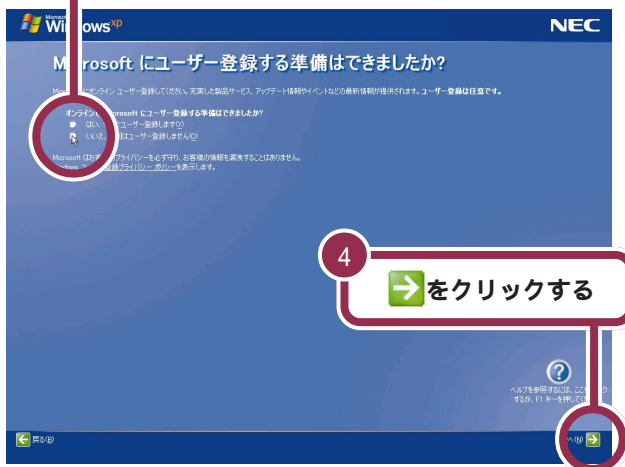


- ・ 文字入力に慣れていない場合は、ここでコンピュータ名をつけてもかまいません。コンピュータ名を入力するときは、半角英数字を使ってください。例えばパソコンが何台あるなら「PC1」、「PC2」、「PC3」...といった感じに。またペットのように愛称をつけてもいいでしょう。思いつかなければ「VALUESTAR」としてください。
- ・ コンピュータ名に数字を使うときは、キーボードまたはディスプレイの  のランプ(機種によりランプの位置は異なります)が点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。
- ・ コンピュータ名はセットアップ後に変更することもできます。変更の方法は、Windows の「ヘルプとサポート」をご覧ください。

インターネットに接続する方法は、セットアップが終わった後で設定することもできます。詳しくは、 **ばそガイド**・**「パソコンでできること」**をご覧ください。





↓ 次の画面が表示される

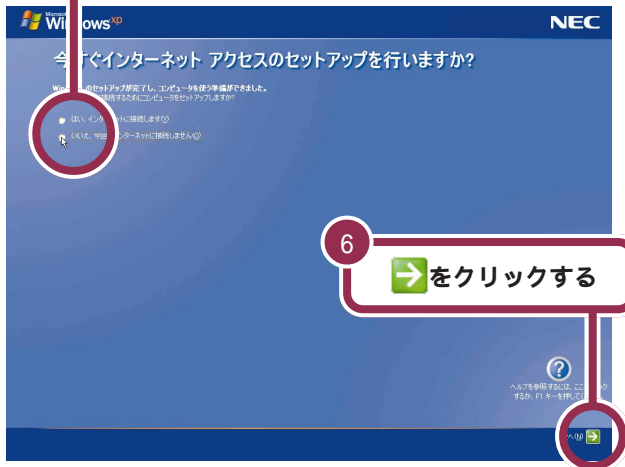
3 「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左の  の中に  (矢印)の先端を合わせ、クリックする
「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左の  が  になる



4  をクリックする

この後の手順は、お使いの機種によって表示される画面が異なることがあります。
次の説明を参考にして、セットアップを続けてください。
「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」画面が表示された場合 **手順** へ進む
次ページの「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示された場合 **手順** へ進む




5 「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左の  の中に  (矢印)の先端を合わせ、クリックする
「いいえ、今回はインターネットに接続しません」の左の  が  になる







6  をクリックする

ユーザー登録はセットアップが終わった後で、「ユーザー登録ウィザード」で行うこともできます。詳しくは、Windowsの「ヘルプとサポート」で「ユーザー登録」で検索し、「オンラインユーザー登録を使用する」をご覧ください。


チェック!!

「いいえ、今回はユーザー登録しません」の左にある  をクリックしないで、 をクリックしてしまった場合は、次の画面で  をクリックしてやり直してください。

手順5で「はい、インターネットに接続します」の左の  を  にして  をクリックすると、NECが運営するプロバイダ「BIGLOBE(ビッグロブ)」入会案内の画面が表示されます。ここからBIGLOBEに入会することもできます。入会を希望される方は、画面の表示を見ながら入会手続きを行ってください。BIGLOBEについては、『BIGLOBEインターネットスタートブック』で紹介しています。

初めてパソコンを使う方や、パソコンの基本操作に自信のない方は、左の手順を行いセットアップを続けてください。BIGLOBEへの入会手続きは後からでもできます。また、他のプロバイダに入会される方も左の手順を行ってください。後からBIGLOBEへ入会する方法は、 ばそガイド」「BIGLOBE入会案内」または、『BIGLOBEインターネットスタートブック』をご覧ください。

チェック!!

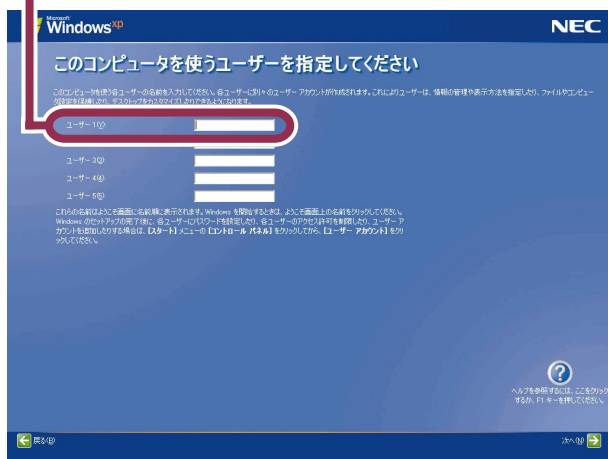
- ・「BIGLOBE」入会案内の画面で  をクリックすると手順5の画面に戻ります。
- ・パルス回線または、会社など0発信回線の場合、ここからBIGLOBEに入会することはできません。

↓ 次の画面が表示される

7

「ユーザー 1」欄にカーソル(|)が点滅していることを確認する

点滅していないときは、「ユーザー 1」欄をクリックする。







8

キーボードから名前を入力する

ここでは、まだ文字入力に慣れていない方のために、日本語入力をオフの状態にしてローマ字で入力する手順で説明します。

【例】

「mita」と入力する場合

日本語入力がオフの状態、キーボードから     の順でキーを押す。

入力を間違えたら

- ・カーソルの左側の文字を消すには:【BackSpace】
- ・カーソルの右側の文字を消すには:【Delete】
- ・カーソルを動かすには:【 】【 】
- ・キーを押しても文字が入力されないときは:
入力欄にカーソル「|」が表示されているかどうか確認してください。
表示されていないときは、入力欄をクリックしてください。

9

入力したユーザー名をこのマニュアルに控える

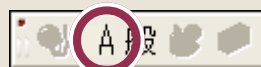
このパソコンを再セットアップする時に必要になりますので、入力したユーザー名は必ず控えておいてください。

ユーザー名:


✓ チェック!!

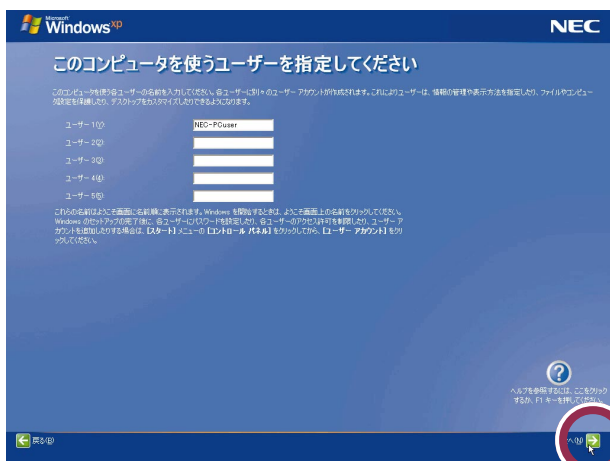
ここでは「ユーザー 1」のみ入力してください。ユーザー名は後で追加や変更ができます。詳しくは、『もっと知りたいパソコン』PART4の「複数のユーザーでパソコンを使う(マルチユーザー機能)」または、Windowsの「ヘルプとサポート」(p.81)をご覧ください。

日本語入力のオンとオフは、キーボードの【半角/全角】を押して切り替えることができます。このとき、日本語入力ツールバーの表示は次のようになります。



「A」と表示されているときはローマ字で、「あ」と表示されているときはかなで入力されず。

ユーザー名に数字を使うときは、キーボードまたはディスプレイの  のランプ(機種によりランプの位置は異なります)が点灯していることを確認してください。点灯していないときは、キーボードの【NumLock】を押してください。



10 →をクリックする

↓ 次の画面が表示される



11 →をクリックする

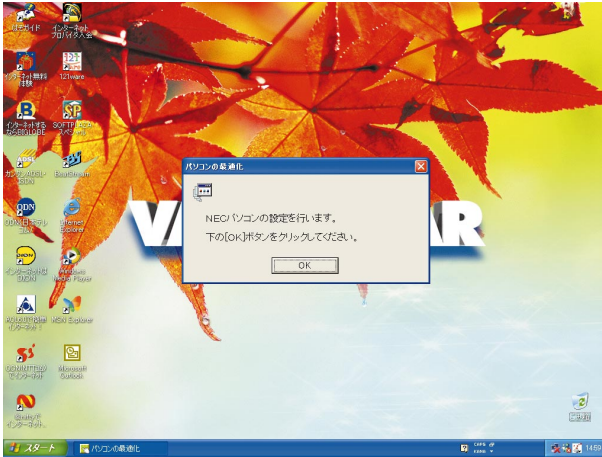
12 次の画面が出るまで待つ

「完了」をクリックすると、その後何度か画面が変わりますが、何も操作せずに待ってください。次の画面が出ます。

**まだセットアップは完了していません。
続けて、次の手順へ進んでください。**

このパソコンの機能を使えるようにする

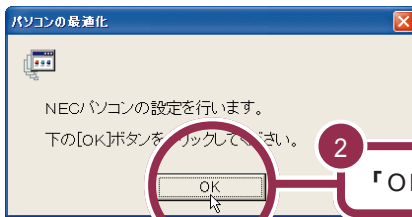
パソコンを使えるようにするための、最後の手順です。
このパソコンの機能をすべて使えるようにするため、必ずこの操作を行ってください。



お使いの機種により、一部の表示が異なることがあります。

1

画面の中央に、下の画面が表示されていることを確認する



2

「OK」をクリックする



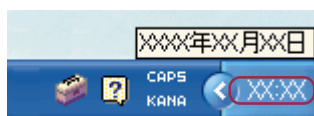
1～2分後に、この画面が出る



この画面が表示されれば、正しくセットアップが行われています。

3

パソコンの「日付と時刻」の設定が正しいかを確認する



画面右下のここに(矢印)を持ってくると日付が表示されます。

時刻は、画面の右下に表示されます。

日付と時刻が正しくない場合は、設定し直してください。

これでセットアップの作業は完了です。

次回から、パソコンの電源を入れると、1～2分後には、いつもこの画面が表示されるようになります。この画面全体をデスクトップといいます。デスクトップにはいろいろなものが表示されていますがパソコンに慣れていない人は、まだ画面をクリックしたりしないで、まずは、どんな物があるか見てみましょう。

セットアップ時にユーザーを2人以上登録した場合は、ユーザー選択の画面が表示されるので、ユーザーを選択するとこの画面が表示されます。

参照

デスクトップ PART6の「デスクトップってなに?」(p.70)

参照

日付と時刻の設定方法 「パソコンガイド」-「トラブル解決Q&A」-「よくある質問」

必要に応じて、パソコンを守る設定を行う



このパソコンには、プログラムやデータを守るためのソフトが添付されています。VirusScan(ウイルススキャン)は、パソコンがコンピュータウイルス(パソコンの動作に悪影響のある不正なプログラム)がひそんでいないかチェックするソフトです。必要に応じて、このソフトの設定を行ってください。

大切なデータは、バックアップをとる

自分が作ったデータは、一度消えてしまうと元に戻すことができません。万一のアクシデントに備えて、自分が作った大事なデータは、必ずバックアップをとるように心がけてください。

VirusScanは、購入時にはこのパソコンにインストールされていません。

参照

- VirusScanのインストール方法
 「ばそガイド」- 「アプリケーションの追加と削除」
- VirusScanについて  「ばそガイド」- 「パソコンでできること」

用語

バックアップ

万一、データが消えてしまっても元に戻せるように、他のドライブやメディア(CD-R/RWなど)にデータを複製しておくこと。

参照

バックアップ 『使っておぼえるパソコンの基本』PART7の「大切なデータの保管方法」

お客様登録 を行う



パソコンが使えるようになったら、まずは「お客様登録」をおすすめします。

お客様登録をしていただくと、NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com(<http://121ware.com>)」(ワントゥウンウェア・ドット・コム)にて、登録した商品に関するバージョンアップ情報やサービス、お買い得情報などお客様一人ひとりにあわせた最新情報をご覧になれます。その他「NEC 121コンタクトセンター」(0120-977-121)での技術相談もすることができます。

お客様登録には、次の3つの方法があります。

1. インターネットで登録する

NECのパソコン関連総合サイト「121ware.com」のマイアカウントメニュー(<http://121ware.com/my/>)にアクセスしてください。

[既に121コミュニケーションIDをお持ちの場合]

画面左側の「ログイン」をクリックし、お持ちの121コミュニケーションIDとパスワードを入力してログインしてください。

[まだ121コミュニケーションIDをお持ちでない場合]

画面左側の「新規登録」をクリックし、ご希望の121コミュニケーションIDを取得してください。

マイアカウントメニュー右側、「保有商品情報」の「新規・追加登録」をクリックしてください。

画面の案内にしたがって、購入された商品を登録してください。

2. オンラインで登録する(NEC オンラインお客様登録)



電話回線を通じて登録します。登録は、フリーダイヤルで行われますので、電話料金はかかりません。登録方法は、添付の『お客様登録ガイド』をご覧ください。

3. ハガキまたはFAXで登録する

添付の『お客様登録申込書』に必要事項を記入し、121ware登録センターへ送ってください。詳しくは、『お客様登録申込書』をご覧ください。

これで、パソコンの準備はOK!

一息入れたら次のページに進んで、正しい電源の入れ方と切り方を覚えておきましょう。

✓チェック!

NEC 121コンタクトセンターに技術的なお問い合わせをする際には、事前に「お客様登録」が必要となります。

✓チェック!

- ・121wareは、キーボードの【121ware】ボタンを押して見ることができます。
- ・パソコンにはじめて触れる方や文字入力に自信のない方は、このパソコンに入っている学習ソフト「パソコンのいろは」で文字入力を練習してから、登録することをおすすめします。
- ・「NEC オンラインお客様登録」または『お客様登録申込書』でご登録された場合、登録後に郵送または電子メールにて登録完了のお知らせをお送りします。

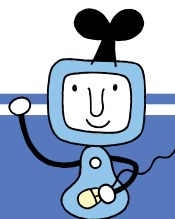
📖参照

- ・「121ware.com」について 『121wareガイドブック』
- ・「パソコンのいろは」の使い方 『使っておぼえるパソコンの基本』の「PART1 「パソコンのいろは」で基本操作に挑戦」
- ・インターネットに接続する方法 『使っておぼえるパソコンの基本』

✓チェック!

「NEC オンラインお客様登録」以外の方法でユーザ登録をした場合でも、「NEC オンラインお客様登録」のアイコンは表示されたままとまります。添付の『お客様登録ガイド』をご覧ください。アイコンを削除してください。

電源の入れ方と切り方



正しい電源の入れ方と切り方を、覚えておきましょう。大切なデータやパソコンを守るために、正しい手順で操作してください。

電源を入れる

1

ディスプレイの電源ランプを確認する

CRT ディスプレイの場合

- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していたら、ディスプレイの電源は入っています。次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。
- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら、ディスプレイの電源は入っていません。ディスプレイの電源スイッチを押して電源を入れてください。

17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合

- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していたら、ディスプレイの電源は入っています。次の手順に進んで、他の機器やパソコンの電源を入れてください。
- ・ディスプレイの電源ランプが点灯していなかったら、ディスプレイの電源は入っていません。ディスプレイ右側の電源スイッチを「-」側にし、ディスプレイの電源を入れてください。

15 型液晶ディスプレイの場合

ディスプレイの電源は、パソコン本体の電源を入れると自動的に入ります。

2

スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源を入れる

✓ チェック!!

電源を入れる操作は、電源が切れてから 5 秒以上の間隔を空けて行ってください。

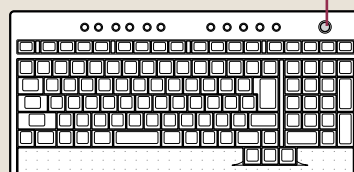
📖 参照

電源スイッチを押しても電源が入らないとき 『困ったときの Q & A』 PART1 の「電源のオン / オフ」

📖 参照

17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの電源の入れ方 この PART の「液晶ディスプレイの電源を入れる(17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合)」(p.42)

ワイヤレスキーボードの場合、キーボードの電源スイッチを押してパソコン本体の電源を入れることもできます。 キーボードの電源スイッチ



キーボードの形状は、モデルにより異なります。

3

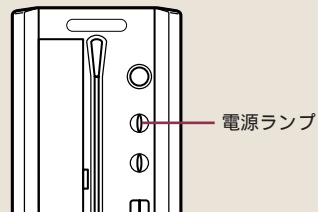
パソコン本体の電源スイッチを押し
て、パソコン本体の電源を入れる



↓ 1 ~ 2 分後に次の画面が表示される



パソコン本体の電源が入っているときは、電源ランプが緑色に点灯します。ディスプレイの電源ランプも点灯します。



ユーザーパスワードの設定をしたり、複数のユーザーを登録したりすると、Windows起動時に、ユーザー選択の画面が表示されるようになります。この場合は、起動するユーザーを選択し、必要であればパスワードを入力してください。



電源を切る

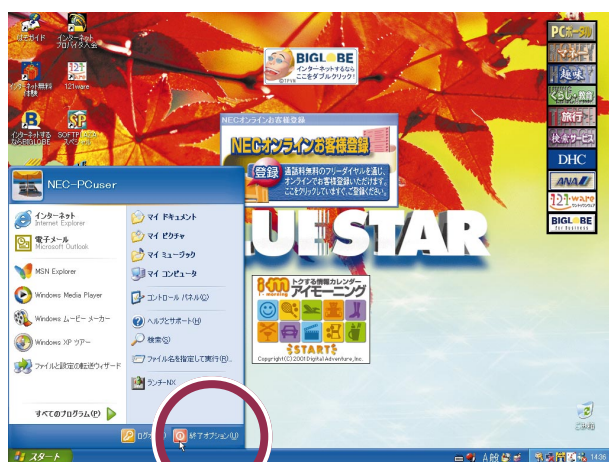
パソコンの内部には突然電源を切ってしまうと具合が悪い部品やアプリケーションも入っています。次の手順にしたがって電源を切ると、これらの部品やアプリケーションの動作終了を自動的にチェックして、安全に電源を切ることができます。

1

画面左下にある「スタート」をクリックする



↓ スタートメニューが表示される



2

「終了オプション」をクリックする

✓チェック!

電源を切る前にデータを保存し、アプリケーションを終了しておいてください。

電源を切るときは、電源スイッチを押さずに、ここで説明する手順で操作することをおすすめします。

キーボードやマウスの操作ができなくなったなど、左の方法で電源が切れないときは、電源スイッチを4秒以上押し続けることで電源を切ることができます。ただしパソコンに負担がかかるので通常はつかわないでください。

用語

スタートメニュー

画面左下にある「スタート」(「スタート」ボタンと呼びます)に矢印を合わせ、マウスの左ボタンを1回押すと、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから「終了オプション」を選ぶと、パソコンの電源を切ることができます。また、ソフトウェアを利用したり、いろいろな設定を行ったりするときにも利用できます。

画面中央に、これが表示される



3 「電源を切る」をクリックする

自動的にパソコン本体の電源が切れ、パソコン本体の電源ランプも消えます。

4

ディスプレイの電源を切る

CRT ディスプレイの場合

CRTディスプレイの電源スイッチを押して、CRTディスプレイの電源を切ります。

17.5 型 / 17 型 / 15.3 型ワイド液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイ右側の電源スイッチを「」側にして、液晶ディスプレイの電源を切ります。

15 型液晶ディスプレイの場合

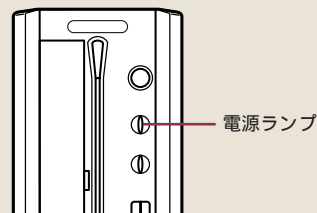
パソコン本体の電源が切れると、液晶ディスプレイの電源も自動的に切れます。

5

スピーカや、他の機器を接続している場合は、それらの電源も切る

電源が切れなくなってしまったときは

「電源を切る」(p.65)の手順で電源が切れなくなってしまった場合は、パソコン本体の電源スイッチを約4秒以上押しつづけると、強制的に電源を切ることができます。強制的に電源を切った後に、5秒以上待ってからもう一度電源スイッチを押してパソコンの電源を入れ、「電源を切る」(p.65)の手順で正しく電源を切り直してください。



CRTディスプレイ、液晶ディスプレイ(15型液晶ディスプレイを除く)をお使いの場合、パソコン本体の電源が切れると、ディスプレイの画面が真っ暗になりますが、ディスプレイの電源が切れたわけではありません。就寝時や外出時など長時間パソコンを使わない場合は、ディスプレイの電源スイッチを押して、電源を切っておきましょう。

✓チェック!!

この方法で電源を切ると、パソコンに負担がかかります。パソコンが起動しなくなる可能性もあります。どうしても電源が切れない場合以外は、この操作は行わないでください。電源を入れ直したときに、「チェックディスク」の画面が表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

📖参照

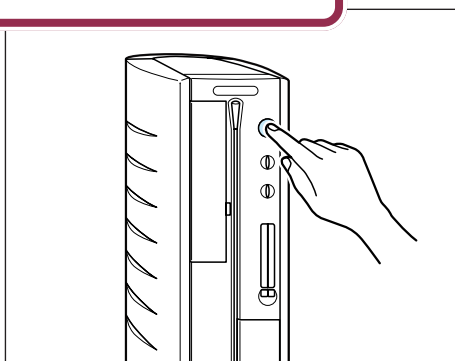
強制的に電源を切る 『困ったときのQ&A』PART1の「電源のオン/オフ」

省電力機能について

マウスを動かさなかったり、キーボードのキーに触れなかったりする状態が20分以上続くと、自動的に画面が真っ暗になります。これは無駄な電力を使わないように、省電力機能が働いたためです。この場合、次の操作を行うことで省電力状態になる前の状態に戻すことができます。

1

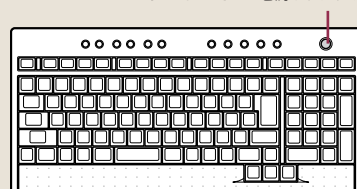
本体の電源スイッチを押す



それでも画面が表示されないときは、ディスプレイの省電力機能が働いていることが考えられます。その場合は、マウスを軽く動かしてください。


ワイヤレスキーボードの場合、キーボードの電源スイッチを押しても省電力状態になる前の状態に戻せません。

キーボードの電源スイッチ



キーボードの形状は、モデルにより異なります。

参照

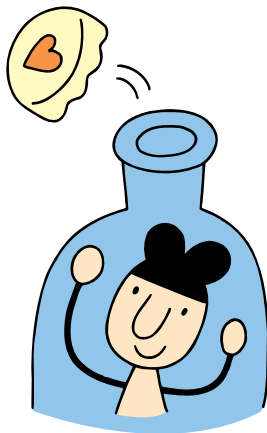
省電力機能について  「はそガイド」-「パソコンでできること」-「もっと知りたいパソコン」PART4の「省電力機能」

PART

6

パソコンを使いはじめよう

いよいよ本格的にパソコンを使いはじめます。
デスクトップやパソコンの画面上で見る電子マ
ニュアル「ばそガイド」、Windowsの「ヘルプと
サポート」の使い方をマスターしてください。



デスクトップってなに？



このパソコンの画面全体をデスクトップといいます。このデスクトップが、パソコンを使うための舞台になります。Windows XP(ウィンドウズ エクスペー)は、いろいろなソフトを動かすためのベースになるソフトですが、この「デスクトップ」がWindows XPの顔なのです。

「ばそガイド」

ここをダブルクリックすると、このパソコンの電子マニュアル「ばそガイド」を見ることができます。詳しくは、このPARTの「電子マニュアルを見る」(p.78)をご覧ください。

アイコン

アプリケーションなど、よく使うファイルが小さい絵(アイコン)で表示されます。アイコンをダブルクリックすると、アプリケーションを起動したり、ファイルを開いたりできます。

「スタート」

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。ここから、アプリケーションを起動したり、いろいろな設定をしたり、ファイルを探したり、Windows XPを終了したりできます(p.72)。



「NEC オンラインお客様登録」

ここをクリックしてお客様登録を行うことができます。登録後は、このアイコンは消えます。詳しくは『お客様登録ガイド』をご覧ください。

「BIGLOBE(ビッグロブ)」

NECがおすすめするインターネットプロバイダ、BIGLOBEの入会手続きや、BIGLOBEでインターネットを利用する環境設定などを行うことができます。

PCポータル

インターネット上のさまざまな情報への入り口です。クリックするだけで、4つのジャンル別メニューと、各企業のご紹介コーナーへアクセスできます。また、「検索サービス」をクリックしてホームページの検索もできます。詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「PCポータル」をご覧ください。

アイモーニング

パソコンで使うカレンダーです。各スポンサーが提供するカレンダー情報を利用して、スポンサーからのイベントやサービスなどの情報を手に入れることができます。食べ物、旅行、ショッピングなどのイベント別メニューや、スポンサーのご紹介情報をクリックしてください。きっとお好みの情報や入り口が見つかります。詳しくは、「ばそガイド」-「パソコンでできること」-「アイモーニング」をご覧ください。

「ごみ箱」

いらぬファイルやフォルダは、このごみ箱に捨てます。

タスクバー

デスクトップのいちばん下には、タスクバーが表示されています。起動しているアプリケーションや、開いているウィンドウなどがボタンで表示されます。

通知領域

アイコンが並んでいます。アイコンはそれぞれ、クリックやダブルクリック、右クリックで設定メニューを表示したり、アプリケーションの状態を表示したり、いろいろな働きをします。詳しくは「ばそガイド」で、各アプリケーションの使い方をご覧ください。

✓チェック!!

デスクトップ上のアイコンは、モデルによって異なります。

📖参照

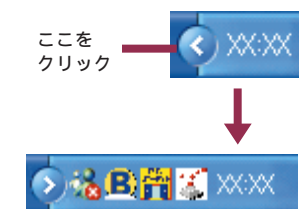
「ばそガイド」の使い方 このPARTの「電子マニュアルを見る」(p.78)

✓チェック!!

インターネット接続の準備ができていない場合は、それぞれ次のようなページが表示されます。

- ・ジャンル別メニューをクリックしたとき、またはポイントしたときハードディスクに保存されている、各ジャンルに応じた企業別のご紹介ページのリンク集
- ・「検索サービス」をクリックしたとき「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面
- ・各企業別の絵柄部分をクリックしたときハードディスクに保存されている、各企業別のご紹介ページまたは、「[PCポータル]BIGLOBEサービスのご紹介」画面

通知領域のアイコンが見えない場合は、をクリックすると隠れているアイコンを表示できます。



スタートメニューを見る

「スタート」をクリックすると、スタートメニューが表示されます。スタートメニューから、アプリケーションを起動したり、このパソコンの設定をしたり、ファイルを探したり、Windows を終了したりできます。



A 最近使用したアプリケーションへのショートカットが自動的に登録されています。

B すべてのプログラム(P) 

このパソコンにインストールされているアプリケーションを起動できます。

C  ログオフ(L)


ログオフまたはユーザーの切り替えができます。

 参照


ログオフとユーザーの切り替えについて 『もっと知りたいパソコン』 PART4 の「複数のユーザーでパソコンを使う(マルチユーザー機能)」

D  **マイドキュメント**


アプリケーションを使って自分が作成したファイルを保存しておく場所です。

E  **マイコンピュータ**

ハードディスクやCD/DVDドライブなど、このパソコンの中身を見ることができます。

F  **コントロールパネル(C)**

画面や音量など、パソコンの設定を必要に応じて変更できます。

G  **ヘルプとサポート(H)**

パソコンを使っていてわからないことがあったり、Windowsの機能について知りたかったりするときにヒントとなる情報があります。

H  **ランチ-NX**

使いたいアプリケーションをすぐに起動できる「ランチ-NX」を表示できます。用途や目的に合わせてグループやアプリケーションを追加したり、整理したりできます。

I  **終了オプション(U)**


このパソコンの電源を切るときは、ここをクリックして表示される画面で「電源を切る」をクリックします。

Windows XPの場合、マイドキュメントにはいくつか種類があります。ここに表示されるものは、C:¥Documents and Settings¥<ユーザー名> ¥My Documents フォルダ内にあるものと同じです(ユーザー名には基本的にはあなたが設定したユーザー名が入ります)。

 参照

「ヘルプとサポート」について このPARTの「Windowsの「ヘルプとサポート」を見る」(p.81)

 参照

「ランチ-NX」について  「ばそガイド」-「パソコンでできること」

これからの進め方



前のPARTで、このパソコンを使う準備は整いました。
このページでは、これからの進め方をチェックしてみま
しょう。

パソコンやインターネット、文字入力の基本操作をマスターしたい

A へ

インターネットや電子メールを利用したい

B へ

このパソコンのアプリケーションについて知りたい

C へ

このパソコンでどんなことができるのか知りたい

D へ

このパソコンで利用できる周辺機器について知りたい

E へ

パソコンでテレビ番組を視聴／録画したり、映像を編集したりしたい
(TVモデルのみ)

F へ

パソコンがおかしい！もしものトラブルのときは

G へ

- ・Windowsの基本的な使い方を知りたい
- ・NECのサービスやサポートについて知りたい
- ・お客様登録について知りたい

H へ

A

学習ソフト「パソコンのいろは」で、パソコンやインターネット、文字入力の基本操作を練習しましょう。

このパソコンには、パソコンやインターネット、文字入力の基本を学習するソフト「パソコンのいろは」があります。説明を読むだけでなく、実際にキーボードやマウスを使って練習するので、効率的に学習できます。

 参照

「パソコンのいろは」の使い方 『使っておぼえるパソコンの基本』



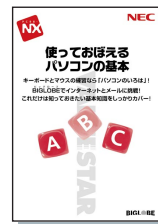
B

『使っておぼえるパソコンの基本』で、インターネットや電子メールの基本操作を学びましょう。

『使っておぼえるパソコンの基本』では、インターネットや電子メールの基本操作を説明しています。

また、このパソコンにあるインターネットを無料体験できるソフト「インターネット無料体験」についても説明しています。まずはインターネットを体験してみましょう。

この他にも、ワープロを使って文章を作成したり、たまったファイルを整理したりする方法なども紹介しています。



C

電子マニュアル「ばそガイド」「パソコンでできること」で、アプリケーションの使い方を調べることができます。

「パソコンでできること」には、アプリケーションを使いこなすためのヒントがあります。やりたいことや50音別に、アプリケーションの使い方を調べることができます。

参照

「ばそガイド」の使い方 このあとの「電子マニュアルを見る」(p.78)



D

『VALUESTAR 活用レシピ』には、パソコンを使ってできることや、パソコンを使いこなすためのヒントがあります。

『VALUESTAR 活用レシピ』や電子マニュアル「ばそガイド」「活用提案」には、オリジナルのCDやホームページを作りたい、家族でパソコンを使いたい、インターネットや電子メールをうまく使いこなすコツを知りたいなど、パソコンを使いこなしたいときにヒントとなる説明があります。ここで自分だけのパソコンの使い方を見つけることができます。



E

『もっと知りたいパソコン』で、このパソコンで利用できる周辺機器について詳しく調べることができます。

デジタルカメラやプリンタなど、パソコンで利用できる周辺機器にはいろいろあります。『もっと知りたいパソコン』をご覧になり、このパソコンで利用できる周辺機器の種類や買うときのポイント、取り付け方などをチェックしましょう。

また『VALUESTAR活用レシピ』には、プリンタやデジタルカメラなど、周辺機器を使いこなすためのヒントがあります。合わせてご覧ください。



F

『TVモデルガイド』では、このパソコンでテレビ番組の視聴や録画をしたり、映像を編集したりする方法について説明しています。

TVモデルでは、このパソコンでテレビ番組の視聴や録画をしたり、デジタルビデオカメラなどからパソコンに取り込んだ映像を編集したりできます。

パソコンでテレビを見るには、アンテナ線の接続などの準備が必要になります。『TVモデルガイド』をご覧になり、まず最初にパソコンでテレビを見る準備をしましょう。

地上波データ放送を見る「ビットキャストブラウザ」について詳しくは、『パソコンガイド』-「パソコンでできること」をご覧ください。

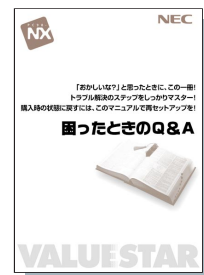


G

『困ったときのQ&A』では、トラブルが起きたときの対処方法や、パソコンのお手入れのしかたなどについて調べることができます。

トラブルが起きたら、『困ったときのQ&A』や、『パソコンガイド』-「困ったときのQ&A」をご覧ください。当てはまるトラブル事例がないか探してみてください。

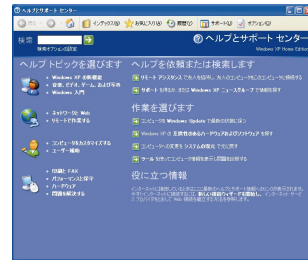
また『困ったときのQ&A』では、万一トラブルが起きたときに備えて、データをバックアップしたり、再セットアップしたり、パソコンをお手入れしたりする方法についても説明しています。



H

Windows の基本的な使い方について知りたい

Windows の「ヘルプとサポート」では、Windows XP の基本的な使い方を調べたり、Windows XP を使っていてわからないことを解決したりできます。詳しくは、このあとの「Windows の「ヘルプとサポート」を見る (p.81)」をご覧ください。



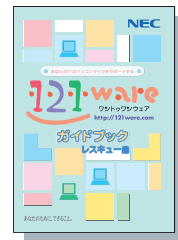
NEC のサービスやサポートについて知りたい

121ware ガイドブック

NEC の用意するサービスやサポート、また問い合わせ先を探すときなどに使う「サポートのためのご案内」です。

ばそガイド

「ばそガイド」-「サービス&サポート」では、NEC への問い合わせ先のほかに、添付のアプリケーションについてのサポート窓口も紹介されています。



お客様登録について知りたい

お客様登録ガイド

サポート、サービスを充実するためのお客様登録のしかたを案内しています。また、お客様登録と同時に NEC が運営するプロバイダ「BIGLOBE」への入会手続きも行えます。

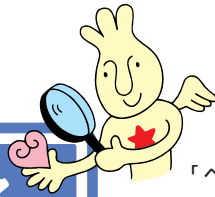


アプリケーションのマニュアルなど

このパソコンにインストールされているアプリケーションのマニュアルもあります。このパソコンの電子マニュアル「ばそガイド」-「パソコンでできること」と合わせてご覧ください。

電子マニュアル「ばそガイド」の使い方について詳しくは、このあとの「電子マニュアルを見る」をご覧ください。

また、ここで紹介したマニュアルのほかにも、モデルによってさまざまなマニュアルが添付されています。



電子マニュアルを見る

このパソコンには「ばそガイド」という、パソコンの画面上で見るマニュアル(電子マニュアル)が入っています。「ばそガイド」では、このパソコンに入っているアプリケーションの紹介や操作手順の説明をしています。その他にも、サポート窓口一覧や「困ったときのQ&A」もあります。

「ヘルプとサポート」や「ばそガイド」の項目の中にはクリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。画面右下の通知領域のインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「ばそガイド」の画面を閉じてでもインターネット接続は切断されない場合があります。

「ばそガイド」を見る

1

「ばそガイド」をダブルクリックする

スタートメニューの「すべてのプログラム」-「NEC 電子マニュアル」-「ばそガイド」をクリックしても、「ばそガイド」を起動できます。

このパソコンの情報を表示できます。

このパソコンの最新情報を入手できます。

A

B

C

D

用語集 - パソコン用語を約 350 語収録!

知らない用語を、
すばやく検索

「ばそガイド」について

「ばそガイド」の使い方や内容を
紹介しています。詳しく知りたい
方は、ここをご覧ください。

A はじめてのパソコン

はじめてのパソコン

- パソコンのいろはを使ってみよう
- こんなときの操作集
- トラブルの予防
- 自動操作説明集

パソコンを使うときに知っておくと便利な操作や設定を、実際の画面上で、自動的に行うことができます。

キーボードやマウスの操作のしかたや、インターネットのやり方など、パソコンの基本を練習できるソフト「パソコンのいろは」を起動できます。

パソコンを使うときに知っておきたい基本操作を、目的に合わせて調べることができます。

ウイルスの感染やハードディスクの故障など、もしものトラブルを予防するためのポイントを説明しています。

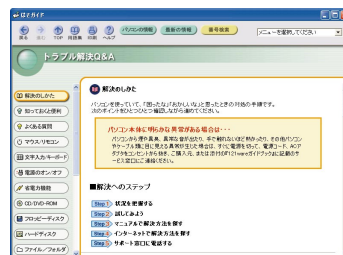
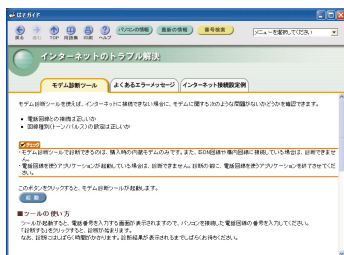
B 困ったときのQ&A

困ったときのQ&A

- トラブル解決Q&A
- インターネットのトラブル解決

トラブルの解決法を Q & A 形式で説明しています。

モデムの診断や、インターネットでのトラブル解決法を説明しています。



C サービス & サポート

サービス&サポート

- NECのサービス&サポート
- アプリケーションのサポート窓口

NECが行っている、パソコンに関するさまざまなサービスやサポート窓口の案内です。

このパソコンに添付されているアプリケーションの、製造元各社のサポート窓口一覧です。

Windows の「ヘルプとサポート」を見る

1

スタートをクリックする



2

ヘルプとサポートをクリックする

✓ **チェック!!**

「ヘルプとサポート」や「ばそガイド」の項目の中にはクリックするとインターネットに接続するものがあります。問題が解決したら必ずインターネットから切断してください。画面右下の通知領域のインターネット接続アイコンを右クリックして表示されるメニューの中から「切断」をクリックしてください。
「インターネットエクスプローラ」「ヘルプとサポート」「ばそガイド」の画面を閉じててもインターネット接続は切断されない場合があります。

前に見ていた画面を表示できます。

「戻る」ボタンを押す前の画面を表示できます。

「ヘルプとサポート」の最初の画面を表示できます。

キーワード検索の画面を表示します。



トピックに関連する説明を表示したり、関連する操作を行ったりできます。トピックの中にはインターネットに接続できる環境を必要とするものもあります。

ヘルプとサポート センター

ヘルプトピックを選びます

- Windows XP の新機能
- 音楽、ビデオ、ゲーム、および写真
- Windows 入門
- ネットワークと Web
- リモートで作業する
- コンピュータをカスタマイズする
- ユーザー補助
- 印刷と FAX
- パフォーマンスと保守
- ハードウェア
- 問題を解決する

ヘルプを依頼または検索します

- リモート アシスタンス で友人を招待し、友人のコンピュータをこのコンピュータに接続する
- サポート を得るか、または Windows XP ニュースグループ で情報を探す

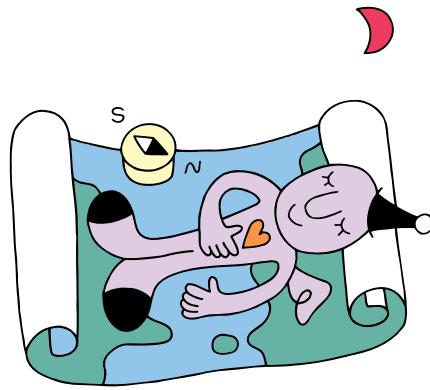
作業を選びます

- コンピュータを Windows Update で最新の状態に保つ
- Windows XP の 互換性のあるハードウェアおよびソフトウェア を探す
- コンピュータへの変更をシステムの復元 で元に戻す
- ツールを使ってコンピュータ情報を表示し問題を診断する

役に立つ情報

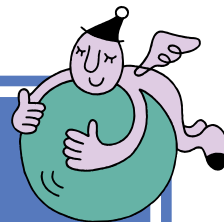
インターネットに接続しているときはここに最新のヘルプとサポート情報へのリンクが表示されます。今すぐインターネットに接続するには、**新しい接続ウィザードを開始し**、インターネット サービスプロバイダをおいて Web 接続を確立する方法を参照します。

付 録



各部の名称と役割を覚えよう

ここでは、パソコンを使っていく上で、知っている则利な機能などを紹介します。



パソコン本体

CD/DVDドライブ

CD-ROM や DVD-ROM、音楽用 CD などをセットするところだす (「CD-ROM などの扱ひ方」(p.86))。

CD/ハードディスクアクセスランプ

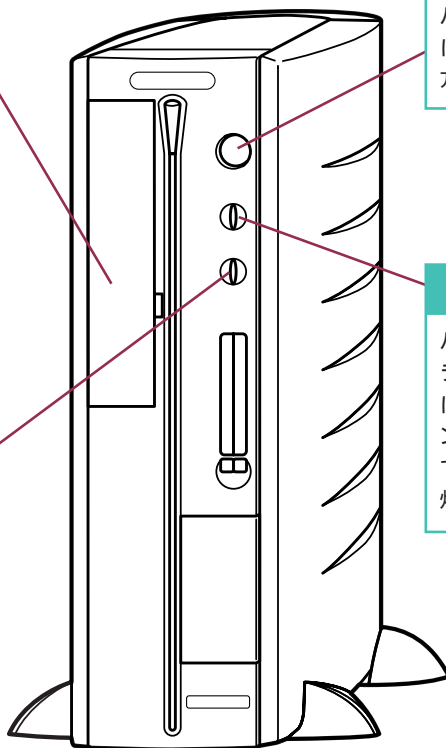
CD を読み書きしているときやハードディスクにアクセスしているときに点灯します。点灯中は、電源スイッチを押さないでください。

電源スイッチ (パソコン本体)

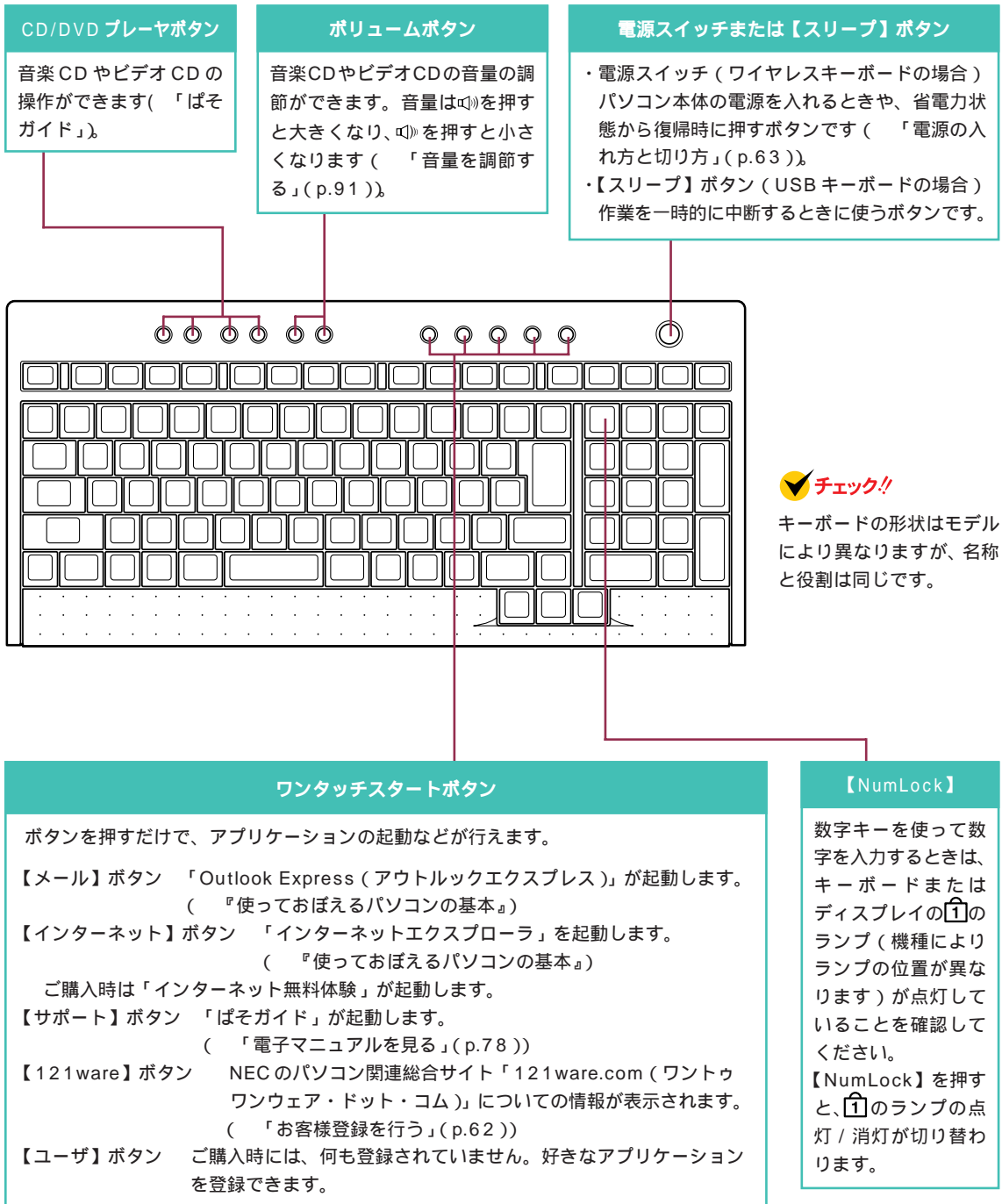
パソコン本体の電源を入れるときに押すボタンです (「電源の入れ方と切り方」(p.63))。

電源ランプ

パソコン本体の電源の状態を表すランプです。電源を入れると緑色に、スタンバイ状態のときはオレンジ色に点灯します。電源を切っているとき、休止状態のときは、消灯します。



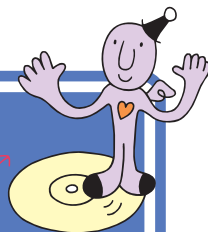
キーボード



ワンタッチスタートボタンで起動するアプリケーションなどの設定は変更できます。
詳しくは、 「ばそガイド」・「パソコンでできること」・「ワンタッチスタートボタンの設定」をご覧ください。

シーディーロム

CD-ROM などの 扱い方



このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスクの種類や取り扱い上の注意、CD-ROMのセットのしかたを説明します。

このパソコンのCD/DVDドライブで使えるディスク

このパソコンでは、次のようなディスクを使えます。

規格	概要
CD-ROM	パソコンで見るための情報が入ったCD。このパソコンで使えるのは「Windows 95」、「Windows 98」、「Windows Me」、「Windows 2000」、「Windows XP」対応のCD-ROMで、「Macintosh専用」のものは使えません。
CD-R/ CD-RW	データ書き込みが可能なCD。CD-R/RWモデルまたはCD-R/RW with DVD-ROMモデルで書き込みもできます。
音楽CD	一般の音楽CDのことです。
ビデオCD/ カラオケCD	音声と動画が記録されたCDです。
フォトCD	写真を記録したCDです。
DVD-ROM	CD-ROMの約7倍(片面一層の場合)の量のデータを記録できるディスクです。百科事典や地図が記録されているものなどがあります。CD-R/RW with DVD-ROMモデルで使えます。
DVD-Video	映画やドキュメンタリーが高画質、高音質で記録されているDVDです。CD-R/RW with DVD-ROMモデルで使えます。

CD-ROMの取り扱い上の注意

- ・信号面(文字などが印刷されていない面)に手を触れないでください。
- ・表面にラベルを貼ったり、文字を書いたり、傷を付けたりしないでください。
- ・上に重いものを載せたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- ・汚れたときは、やわらかい布で内側から外側に向けて拭いてください。
- ・清掃の際はCD専用のスプレーをお使いください。
- ・ベンジン、シンナーなどで拭かないようにしてください。
- ・ゴミやホコリの多い場所での使用は避けてください。
- ・直射日光のあたる場所や、温度の高い場所に保管しないでください。

Windows 2000 対応のほとんどのCD-ROMは、Windows XPで使うことができます。Windows 95/98/Me 対応のCD-ROMは、Windows XPで使えるものとそうでないものがあるので、ご購入前に確認してください。

MacintoshでもWindowsでも使えるように作られた「ハイブリッドCD」というCDもあります。

CD-TEXT対応の音楽CDは、通常の音楽CDとして再生することができます。また、Jet-Audio Playerの設定を変更すると、CD-TEXT対応の音楽CDのテキストデータ部分を読み出すことができるようになります。詳しくは、Jet-Audio Playerのオンラインマニュアルをご覧ください。

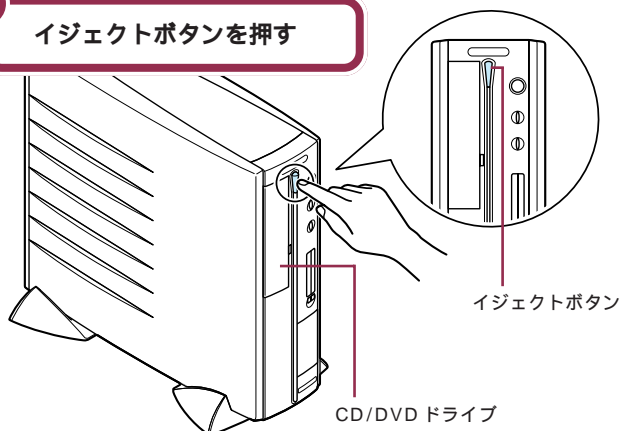
使用後は、収納ケースに入れるようにしてください。

CD-ROM の入れ方と出し方

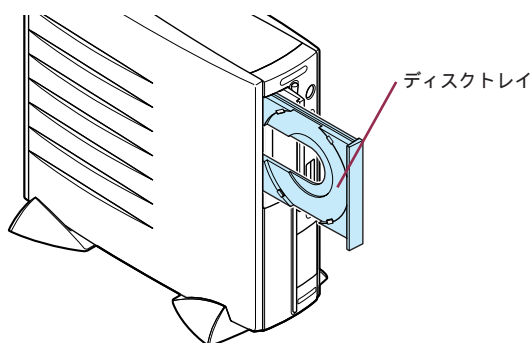
CD-ROMを入れる方法

1

イジェクトボタンを押す

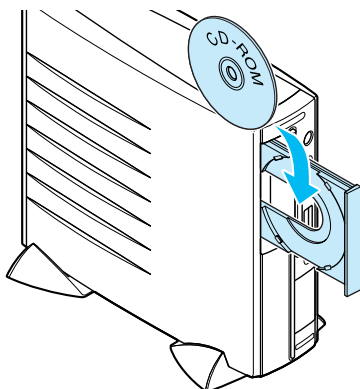


↓
カバーが開いてディスクトレイが出てくる



2

CD-ROM のラベル面(文字などが印刷されている面)を左にしてディスクトレイの下にあるツメにひっかかるように収める



DVD-ROM、CD-R/RWも、基本的な取り扱い方はCD-ROMと同じです。

✓ チェック!!

- ・ ディスクトレイの出し入れは、本体の電源が入っているときにしかできません。
- ・ CD/DVDドライブのカバーは、イジェクトボタンを押すと、自動的に開くようになっています。カバーを無理に開こうとすると、カバーが壊れることがあります。

📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合 『困ったときのQ&A』PART1の「その他」

✓ チェック!!

- ・ CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。次ページを見て、あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。
- ・ パソコン本体を縦置きにするとCDシングル(直径8cmのCD)は使えません。
また故障の原因になりますので市販のCDシングル用アダプタは使わないでください。CDシングルを再生したいときは、スタビライザを外した後、本体にゴム足を取り付けて、横置きで使用してください。

📖 参照

- ・ スタビライザの外し方 『もっと知りたいパソコン』PART3の「本体の開け方と閉め方」
- ・ ゴム足の取り付け方 PART2の「パソコン本体にスタビライザを取り付ける」(p.12)

CD-ROMをセットするときは、CD-ROMが落ちないように確実にツメにひっかけてください。ツメには、A、B、C、Dの4タイプがあります。あなたのパソコンのツメのタイプを確認してください。

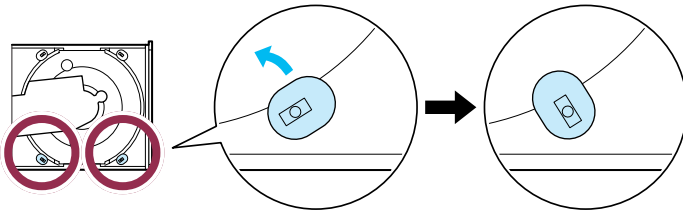
各モデルのタイプ

- ・ CD-R/RW with DVD-ROM モデルの場合
AタイプかCタイプです。
- ・ CD-R/RW モデルの場合
BタイプかCタイプかDタイプです。

ツメのタイプ

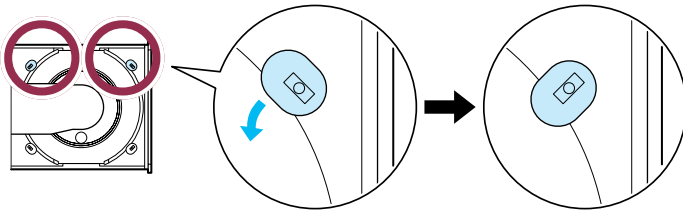
・Aタイプ

下側の2つのツメを出します

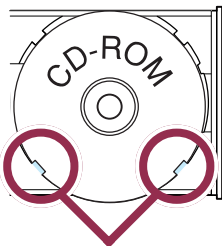


・Bタイプ

上側の2つのツメを出します



・Cタイプ



ここのツメで押さえる

・Dタイプ

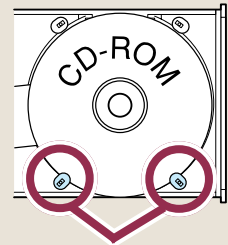


ここのツメで押さえる

✓チェック!!

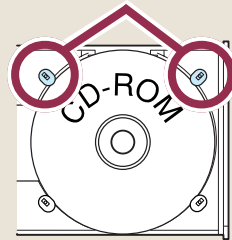
パソコンを横置きにしてCD-ROMをセットするときは、Aタイプ、Bタイプのツメは出さずに使ってください。

特に、AタイプとBタイプは形状が似ていますが、間違えないように注意してください。自分のパソコンのモデルが分からないときは、p.2で本体左側面の型名(型番)を確認し、p.iiiの表と照合して該当するモデルを確認してください。



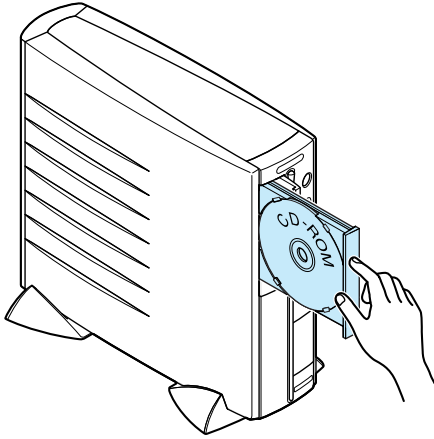
下側の2つのツメで押さえる

上側の2つのツメで押さえる

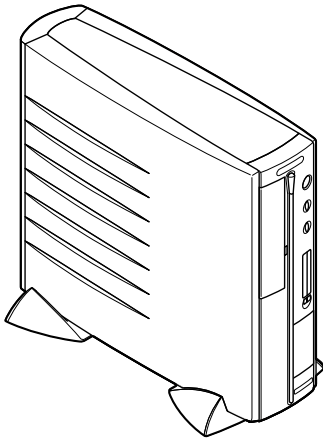


3

ディスクトレイを軽く押す





ディスクトレイが収納されて
カバーも閉じる


 **チェック!!**

イジェクトボタンを押して収納することもできます。

CD-ROM をセットしたら...

セットしたCD-ROMによっては、マウスポインタがの形に変わり、しばらくすると右のような画面が表示されます。このとき、使うアプリケーションを目的に合わせて選び「OK」ボタンをクリックすると、選択したアプリケーションが起動し、CD-ROMの中身を見ることができます。画面が表示されないときは、マイコンピュータの (CDアイコン)をダブルクリックして中身を確認できます。



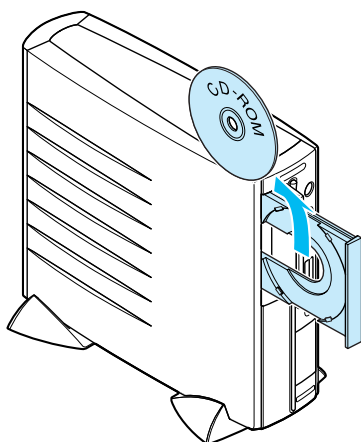
CD-ROMを取り出す方法

1

イジェクトボタンを押す

2

ディスクトレイから CD-ROM を取り出す



3

ディスクトレイを軽く押す

ディスクトレイが収納されてカバーも閉じる

✓ チェック!!

- ・ ディスクトレイから取り出すときに、CD-ROM を落としたり、キズつけたりしないように注意してください。
- ・ CD-ROM を取り出した後、ディスクトレイのツメを元に戻す必要はありません。

📖 参照

イジェクトボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合 『困ったときのQ&A』PART1 の「その他」

✓ チェック!!

イジェクトボタンを押して収納することもできます。

音量を調節する



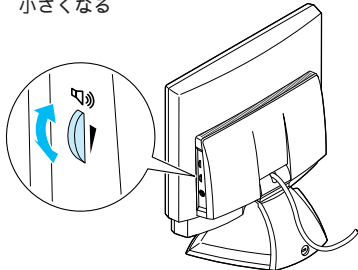
パソコンから出る音がうるさいときや、小さくて聞こえないときは、音量を調節できます。

液晶ディスプレイのスピーカを調節する (液晶ディスプレイセットモデルのみ)

1

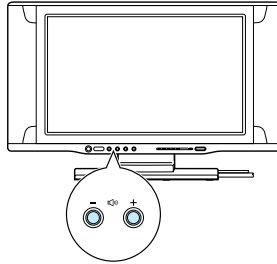
スピーカのボリュームつまみを回す、
またはボリュームボタンを押す

上に回すと音が大きくなり、下に回すと音が小さくなる



15型液晶ディスプレイ

「+」を押すと音が大きくなり、「-」を押すと音が小さくなる



17.5型 / 17型 / 15.3型
ワイド液晶ディスプレイ

外付けスピーカの音量を調節する(スピーカ添付モデルのみ)

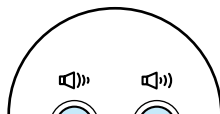
PART5の「スピーカの電源を入れる(スピーカ添付モデルのみ)」
(p.43)をご覧ください。

キーボードのボリュームボタンで調節する

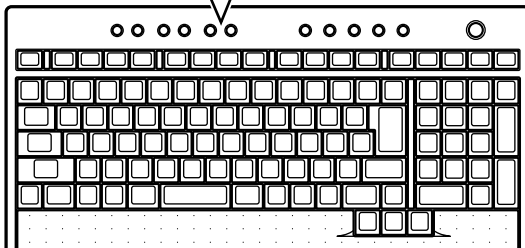
1

🔊 ボタンまたは 🔊 ボタンを押す

このボタンを押すと音が小さくなる



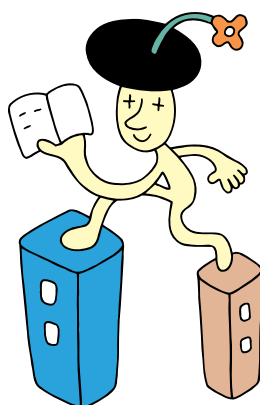
このボタンを押すと音が大きくなる



✓ チェック!!

スピーカの音量が最小になっていると、🔊 ボタンを押してもスピーカからの音は、大きくなりません。

索引



英数字

121ware.com	62
BIGLOBE	71
CD/DVDドライブ	84, 86
CD/DVDプレーヤボタン	85
CD-ROMの入れ方	87
CD-ROMの出し方	90
CD/ハードディスクアクセスランプ	84
【Enter】キー	48
NECオンラインお客様登録	62, 70
【NumLock】	85
PCポータル	71

あ行

アース線	15
アース端子	8
アースの接続	15
アイコン	70
アイモーニング	71
お客様登録	62
音量の調節	91

か行

乾電池	25, 26
キーボード	24, 34, 85
キーボードの準備	24
キーボードの接続	34
キーボードの登録	45
クリック	53
結露	3
ごみ箱	71
コンセント	8
コントロールパネル	73

さ行

終了オプション	73
使用許諾契約	53, 54
省電力機能	67
スクロール	53
スタート	65, 70
スタートメニュー	65, 72
スタビライザの取り付け	12
スピーカの接続	36
【スリープ】ボタン	85
セットアップ	42

た行

タスクバー	70
通知領域	71
ディスプレイ	22, 32
ディスプレイの接続	22, 32
デスクトップ	70
電源ケーブルの接続	27, 37
電源スイッチ	42, 43, 84, 85
電源の取り方	8
電源ランプ	42, 43, 64, 84
電源を入れる	42, 43, 63
電源を切る	65
電話回線への接続	17

は行

ばそガイド	70, 78
パソコンのいろは	74
パソコンの置き場所	3~7
パソコンの接続	10~40
バックアップ	61
ヘルプとサポート	73, 81
保証書	2
ボリュームつまみ	91
ボリュームボタン	85, 91

ま行

マイコンピュータ	73
マイドキュメント	73
マウス	24, 35, 52
マウスの動かし方	52
マウスの準備	24
マウスの接続	34
マウスの登録	45
モジュラーケーブル	5, 17

ら行

ランチ-NX	73
ログオフ	72

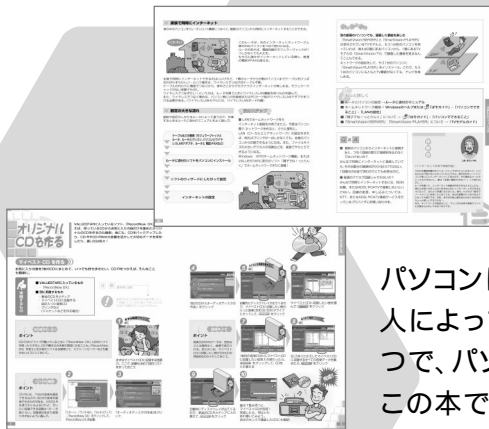
わ行

ワンタッチスタートボタン	85
--------------------	----

やりたいことがすぐできる

『VALUESTAR活用レシピ』は こんな本!

せっかく買ったパソコン、
思いっきり楽しみたいと思いませんか?
そんなときに、この1冊。
テーブルクロスをあしらった
カラフルな表紙が目印です。



パソコンは料理とおなじ。
人によって、状況によって、素材や味付けの工夫ひとつで、パソコンの可能性はどんどん広がります。
この本では、失敗知らずのかんたんレシピから、ちょっとしたコツがあるアレンジメニューまで、バリエーション豊かに取りそろえています。

おもな内容

オリジナルCDを作る

デジカメでアルバム作り

マイホームページを作る

パソコンで年賀状

ブロードバンドで
快適インターネット

デジタル音楽生活

携帯電話をもっと便利に

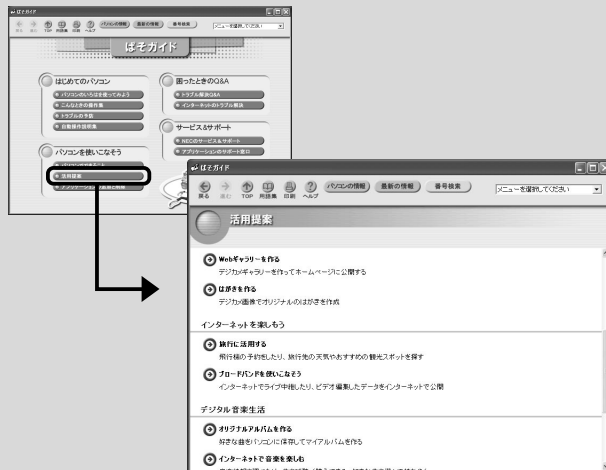
家族で使う
VALUESTAR

DVDで映画を見る

パソコンを自分好みに
アレンジ

電子マニュアル「ばそガイド」にもヒントがある!!

電子マニュアル「ばそガイド」-「活用提案」にもパソコンを使いこなすためのヒントが紹介されています。「活用提案」は、デスクトップにある「ばそガイド」アイコンをダブルクリックして表示される画面で「活用提案」をクリックすると表示できます。



はじめに
お読みください

VALUESTAR



PC98-NX SERIES

VALUESTAR

2版 2001年11月

NEC

P

853-810522-007-A2